

高松市水環境基本計画 第1期実施計画

平成25年度実績報告書

平成26年8月

高松市

目 次

1	はじめに	1
2	評価方法等について	
(1)	評価対象	2
(2)	取組目標（数値目標）37指標の評価について	3
	ア 指標評価基準	
	イ 取組目標（数値目標）の見直し	
	ウ グラフ作成上の改善等	
(3)	具体的取組事業91事業の評価について 別表「評価項目・内容及び点数」	4
3	評価結果	
(1)	取組目標（数値目標）37指標の評価結果	
	ア 総括表	6
	イ 基本方針ごとの分析	7
	ウ 推移グラフ（指標別）	8
(2)	具体的取組事業91事業の評価結果	
	ア 総括表	28
	イ 基本方針ごとの分析	29
	ウ 一覧表（事業別）	30

1 はじめに

水の持つ多面的な価値を、最大限に発揮させるシステムを構築し、世代を超えて引き継いでいく「持続可能な水環境の形成」を実現するため、平成22年9月に「高松市持続可能な水環境の形成に関する条例」を制定し、この条例に基づき「5つの基本方針」と「15の目標」を定めた「高松市水環境基本計画（H23～H42）」を策定しました。

この基本計画の体系として「38の施策」と「78の具体的取組」を設定した「第1期実施計画（H23～H27）」を策定し、水に関する様々な取組を推進するとともに、総合的かつ効果的な進行管理を行うこととしています。

また、第1期実施計画期間において、基本方針1の「身近な水環境の意識の強化」と基本方針4の「安全で安心なまちづくりの推進」を重点取組方針と位置付けています。

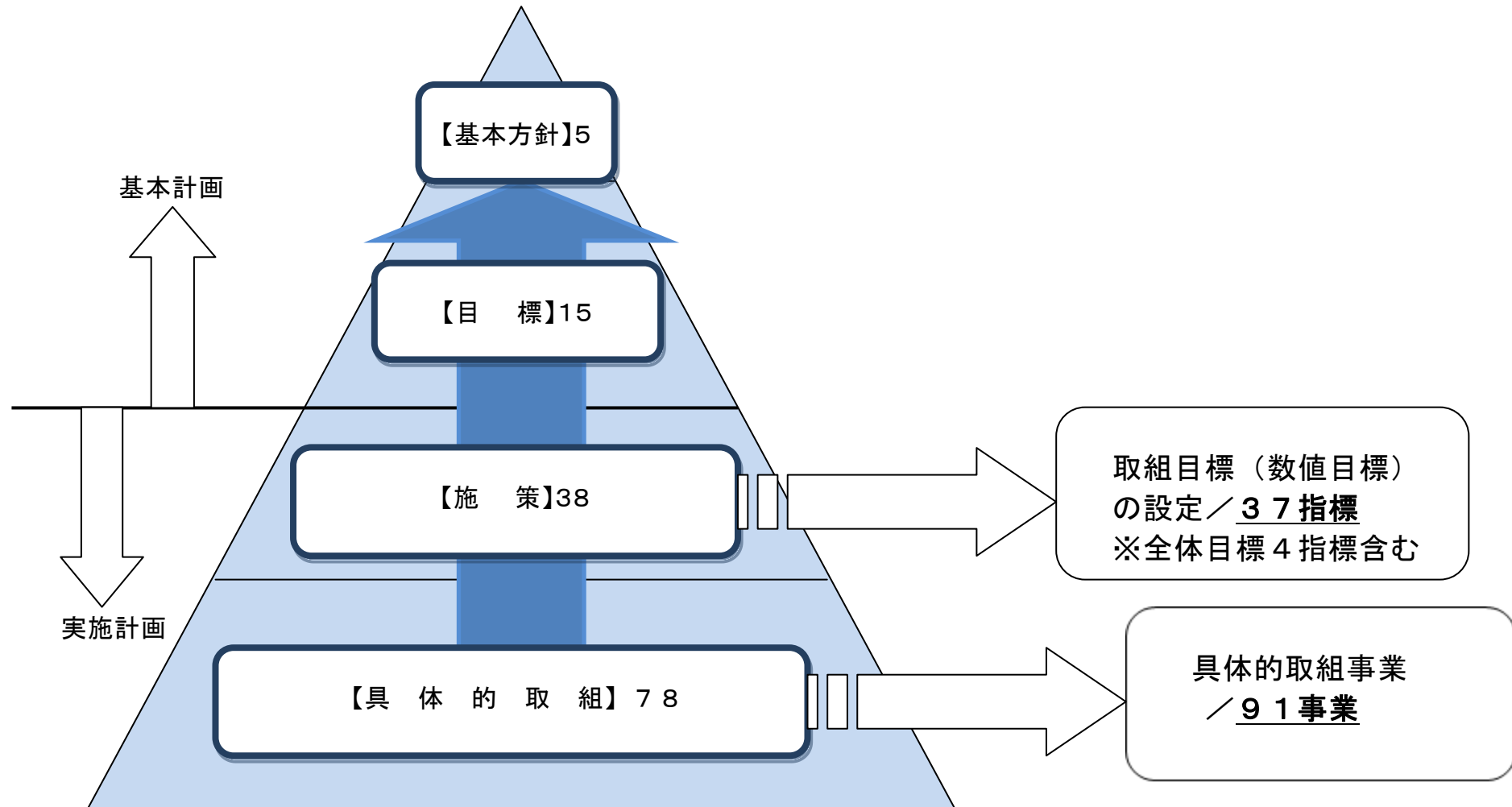
今回、25年度の具体的取組の実績や目標達成度等について取りまとめましたので報告します。



2 評価方法等について

(1) 評価対象

第1期実施計画において、計画の適切な進行管理を行うため、施策38項目のうち23項目37指標を評価するとともに、具体的取組78項目（うち再掲7項目）91事業全てを評価しています。



(2) 取組目標（数値目標）37指標の評価について

ア 指標評価基準

具体的取組の進捗状況を管理するため設定している施策ごとの「取組目標」の評価については、平成25年度の実績値を同年度の目標値で割った数（達成度合）を下記の評価基準に基づき評価しました。

達成度合	100%超	100%以下 86%以上	86%未満 71%以上	71%未満 56%以上	56%未満 41%以上	41%未満
評価区分	S	A	B	C	D	E

イ 取組目標（数値目標）の見直し

平成25年度から、よりの確な進行管理を行うため、取組目標（数値目標）について次のとおり、見直しを行いました。

(ア) 23年度から27年度までの各年度の目標値を表記することとしました。

(イ) これまで累積の目標値のみ表記していた指標について、単年度の成果と評価を明確にするため、単年と累積の両方の目標値を表記することとしました。

(ウ) 24年9月に策定された「高松市上下水道事業基本計画」に搭載された指標については、当該計画との整合性を図りました。

(エ) 前年度の実績を基準としていた目標値については、各年度に達成すべき目標値を具体的に設定することとしました。

(オ) 24年度までの実績が既に27年度の目標値を超えているものについては、新たな目標値を設定しました。

ウ グラフ作成上の改善等

今回の報告書から、27年度の目標値の達成に向けて、単年と累積のそれぞれの目標値と実績値の推移が数字とグラフで明確にわかるようにするなど、作成上の改善を行いました。

(3) 具体的取組事業 9 1 事業の評価について

平成25年度に取り組んだ具体的取組の実績内容について、より詳細に現状を把握するとともに、各課の取組事業について検証を行うため、事務事業評価の手法を用い、別表「評価項目・内容及び点数」に基づき「妥当性評価」、「有効性評価」、「効率性評価」それぞれに得点を算出し、その合計から得点率を算出し、評価区分に分類し、取組状況を総合的に判断しました。

「指標評価基準」

達成度合	96%以上	96%未満 86%以上	86%未満 71%以上	71%未満 56%以上	56%未満 41%以上	41%未満
評価区分	S	A	B	C	D	E

「総合評価の評価基準」

評価項目	妥当性評価	有効性評価	効率性評価	合計
点数	30	30	20	80

別表「評価項目・内容及び点数」(総合評価の評価基準関係)

区分	評価項目	評価内容	点数	
妥当性評価	実施主体の妥当性	事業の実施主体として市の関与は妥当か		
		A	法令等により市が実施しなければならない	10
		B	現段階では市による実施が妥当である	7
		C	市が実施する必要性が低い	4
		D	市が行うべきではない	0
	上位施策等への貢献度	事業の上位目標である施策に貢献しているか		
		A	貢献度が大きい	10
		B	貢献度が中程度／義務的事業	7
		C	貢献度が小さい	4
		D	完了事業	0
	対象の妥当性	成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図(目指す状態)を拡充・縮小する必要があるか		
		A	必要性はない	10
		B	必要性は中程度	7
C		必要性は大きい	4	
有効性評価	事業の成果を向上させる余地の有無	事業の成果(目標指標値)を向上させる余地はあるか		
		A	向上の余地はない	10
		B	向上の余地が考えられる(中小程度)	7
		C	向上の余地が考えられる(大)	4
		D	事業完了	0
	業務執行上の見直しの有無	事業執行上の見直しを行ったか(昨年度何度か見直しを行ったか)		
		A	実施済み／実施する必要がなかった	10
		B	改善計画を策定した	7
		C	改善計画を策定中	4
		D	実施しなかった(実施する必要があったが、できなかった)	0
	取組目標の達成度	取組目標に対する実績値(達成度)はどうだったか		
		A	目標以上に達成できた	10
		B	目標どおり達成できた	8
C		概ね達成できた	5	
D		あまり達成できなかった	2	
E		達成できなかった	0	

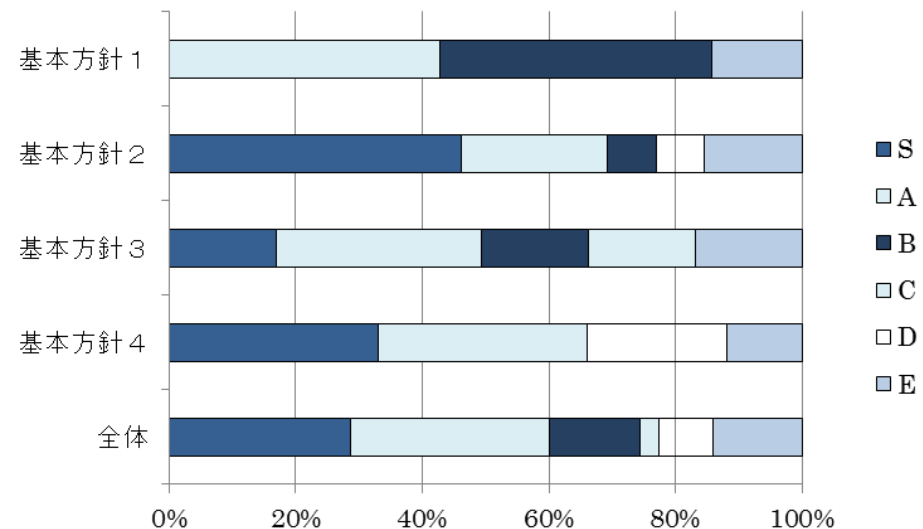
区分	評価項目	評価内容	点数	
効率性評価	目標を達成するための活動量	目標を達成するための取組量(取組目標値に対する実績値)はどうだったか		
		A	目標以上に達成できた	10
		B	目標どおり達成できた	8
		C	概ね達成できた	5
		D	あまり達成できなかった	2
		E	達成できなかった	0
	コストの縮減の有無	コスト縮減ができたか		
		A	大幅に縮減できた	10
		B	縮減できた	7
		C	少し縮減できた	4
	D	縮減できなかった	0	

3 評価結果

(1) 取組目標（数値目標）37指標の評価結果

ア 総括表

評価	S	A	B	C	D	E	計
達成率	100%超	100%未満 86%以上	86%未満 71%以上	71%未満 56%以上	56%未満 41%以上	41%未満	
基本方針1 身近な水環境の意識の強化							
取組事項数	0	3	3	0	0	1	7
割合	0%	43%	43%	0%	0%	14%	100%
基本方針2 水循環の健全化							
取組事項数	6	3	1	0	1	2	13
割合	46%	23%	8%	0%	8%	15%	100%
基本方針3 良好な水辺環境の創出							
取組事項数	1	2	1	1	0	1	6
割合	17%	32%	17%	17%	0%	17%	100%
基本方針4 安全で安心なまちづくりの推進							
取組事項数	3	3	0	0	2	1	9
割合	33%	33%	0%	0%	22%	12%	100%
基本方針5 持続可能な水の利用および管理のあり方の検討							
取組事項数	—	—	—	—	—	—	—
割合	—	—	—	—	—	—	—
【全体】							
取組事項数	10	11	5	1	3	5	35
割合	29%	31%	14%	3%	9%	14%	100%



※ 評価対象とならない2指標は除く。

イ 基本方針ごとの分析

【基本方針1 身近な水環境の意識の強化】

節水キャンペーンの実施による啓発活動や、学校や生涯学習の場での環境教育の推進を図るなど、市民等の水環境や節水への意識の強化に取り組みました。その結果、7指標のうち、6指標がB評価以上となるなど一定の成果が得られたものの、節水キャンペーン中の水道使用量の減少率は目標値を下回っており、今後、より一層効果的なキャンペーンの取組などが必要と考えられます。

【基本方針2 水循環の健全化】

新規水源の開発や老朽管路の計画的な更新など、安定した水供給の確保や水の有効利用、水源涵養などに取り組みました。その結果、14指標（評価対象外の1指標を含む）のうち、自己処理水比率の向上や分収造林事業の推進などに係る6指標がS評価となったのを始め、10指標がB評価以上となるなど成果が得られたものと考えられます。一方、助成事業による雨水貯留施設貯留量は目標値を大きく下回ったことからE評価となり、助成制度の積極的な周知が課題となっています。

【基本方針3 良好な水辺環境の創出】

生活排水対策の周知・啓発や、ため池守り隊市民活動支援事業を行うなど、良好な水辺環境の創出に取り組みました。その結果、6指標のうち、4指標がB評価以上となりました。一方、評価の低かった、ため池の浚渫や生態系保全水路工法の採用については、関係者の理解を得ながら推進していく必要があります。

【基本方針4 安全で安心なまちづくりの推進】

上下水道施設の耐震化や自主防災組織結成の促進を図るなど、安全で安心なまちづくりの推進に取り組みました。その結果、10指標（評価対象外の1指標を含む）のうち、6指標がB評価以上となるなど一定の成果が得られました。一方、評価の低かった、ため池再編整備地区数については、高松市農業振興計画に沿って着実に実施していく必要があります。

【基本方針5 持続可能な水の利用および管理のあり方の検討】

評価指標の設定はありませんが、引き続き、国・県・関係機関など、水に関する多様な主体との連携・協力・交流を更に深めていく必要があります。

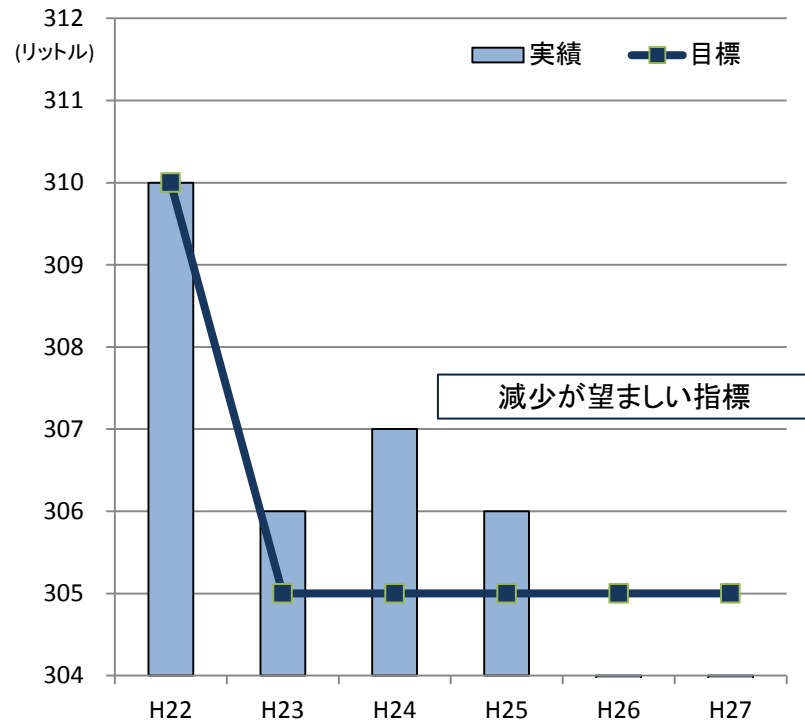
【全体】

全体では、評価対象の35指標のうちB評価以上が、26指標、74%となっており、概ね計画に沿った取組が行われたものと考えられます。なお、前年度と比べて、B評価以上が8指標、20ポイントの減少となりましたが、これは累積目標値の評価から単年度目標値の評価に変更したことによる評価の低下などが主な要因となっています。今後、特にC評価以下の指標について、改善に向けて取り組んでいく必要があります。

ウ 推移グラフ(指標別)

1. 1. 1 啓発活動の強化【水道使用水量の縮減】

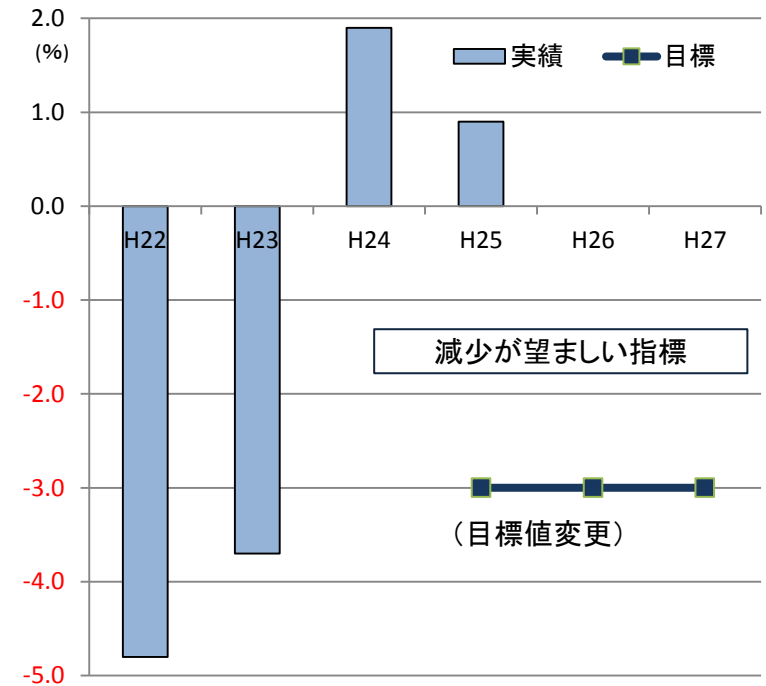
指標	1人1日当たり水道平均使用水量
取組状況	給水世帯数の増加に伴い、基礎的な使用水量が増加したことなどにより、目標値を達成できませんでした。今後も引き続き、広報紙や市ホームページ、ケーブルテレビなどの広報媒体や水に関するイベントを更に活用し、水環境や水資源の大切さに対する意識啓発を図っていきます。



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
目標		305	305	305	305	305
実績	310	306	307	306		
評価				A		

1. 1. 1 啓発活動の強化【節水キャンペーンの実施】

指標	前年同期と比較した水道使用水量減少率
取組状況	節水に関する川柳を募集する「巧水キャンペーン2013」を実施した結果、目標を上回る応募件数となるなど、市民の節水に対する意識は高まっていると考えられます。しかしながら、キャンペーン中の水道使用量の減少にはつながらなかったことから、より効果的な取組を行う必要があります。

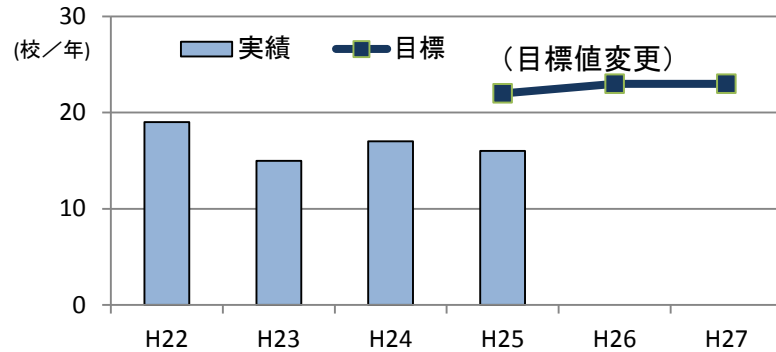


区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
目標				-3.0	-3.0	-3.0
実績	-4.8	-3.7	1.9	0.9		
評価				E		

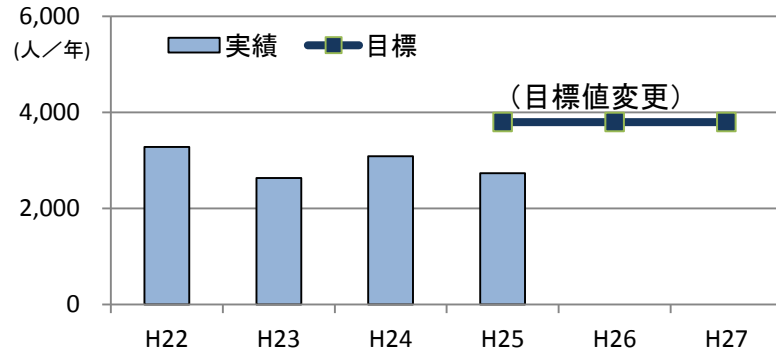
1. 2. 1 学校等での環境教育の推進【水環境に関する学習機会の確保】

指標	「香川用水の水源巡りの旅事業」参加中学校・参加者数
取組状況	学校行事等の都合で参加できない学校があり、目標値を達成できなかったが、生徒の環境意識を高める上で大きく役に立っているため、引き続き、広く中学校への周知を図っていきます。

参加中学校



参加者数

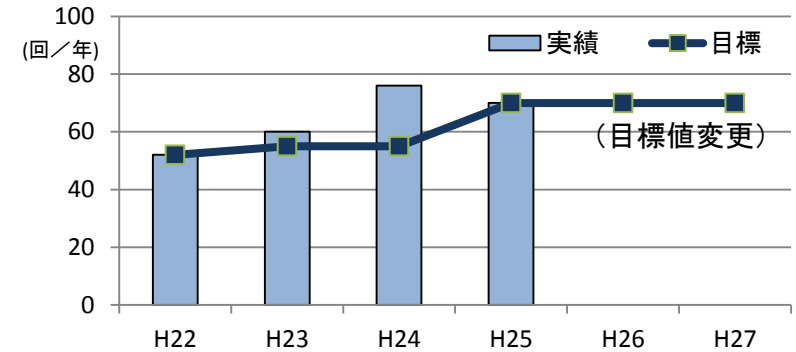


区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	参加中学校	目標			22	23	23	
		実績	19	15	17	16		
	参加者数	目標				3,800	3,800	3,800
		実績	3,278	2,637	3,089	2,732		
評価					B			

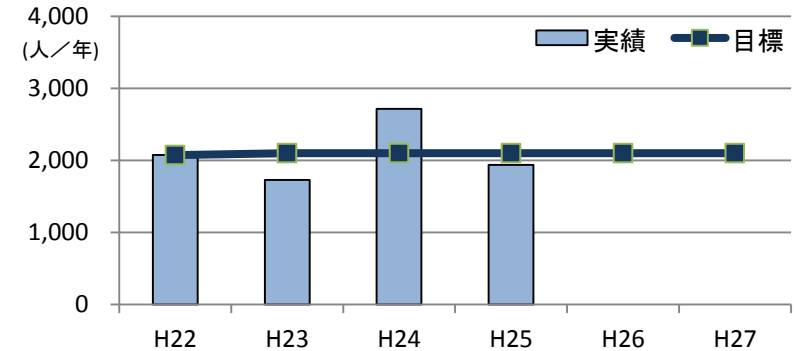
1. 2. 2 生涯学習の場における環境教育の推進【環境に関する出前講座の開催】

指標	出前講座開催回数・参加者数
取組状況	環境学習講座を開催するとともに、広報紙やホームページにより周知に努めました。また、環境活動団体との意見交換会などを通して情報収集に努め、講座内容の改善にも取り組みました。引き続き、環境学習講座を開催していくとともに、26年度には、瀬戸内海に親しむ講座を開催するなど、講座内容の充実を図っていきます。

開催回数



参加者数

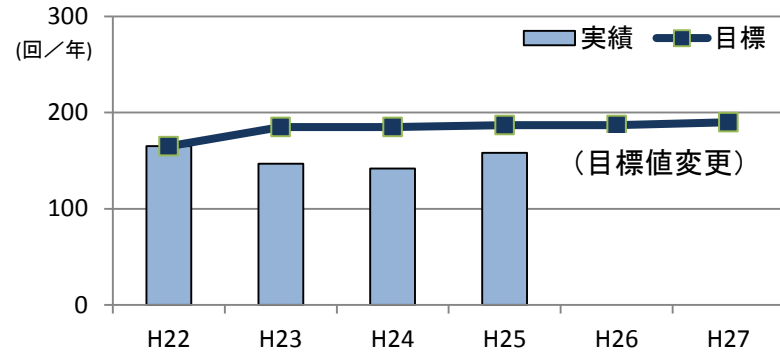


区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	開催回数	目標	55	55	70	70	70	
		実績	52	60	76	70		
	参加者数	目標		2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
		実績	2,074	1,730	2,714	1,937		
評価					回数A、参加者数A			

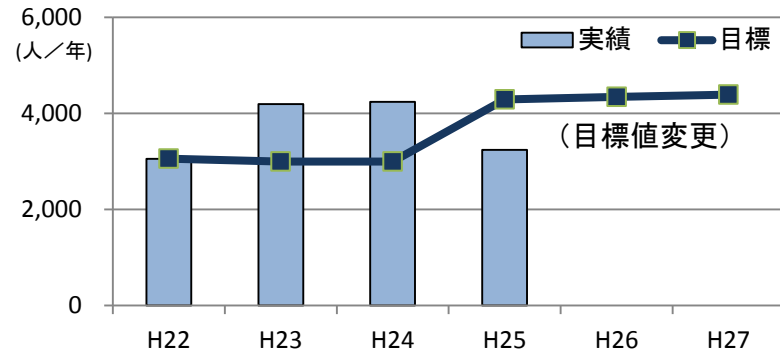
1. 2. 2生涯学習の場における環境教育の推進【生涯学習センター等における環境学習講座の開催】

指標	講座開催回数・受講者数
取組状況	生涯学習センターやコミュニティセンターにおいて、環境問題学習を内容とした講座(うち、水問題学習については、5回、133人)を開催しました。引き続き、生涯学習センターやコミュニティセンターを会場として受講者数の増加に努め、市民の環境に関する意識の啓発を図っていきます。

開催回数



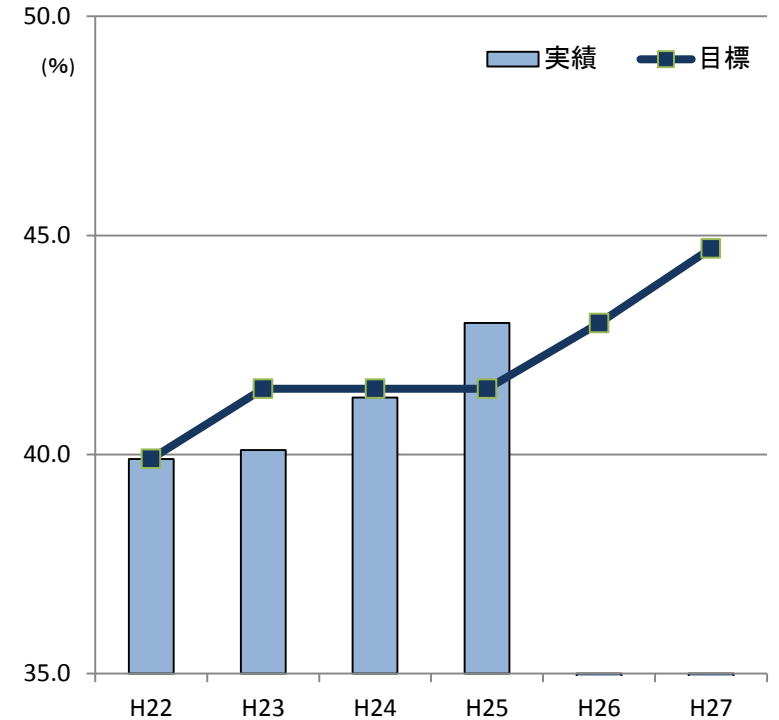
受講者数



区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	開催回数	目標	185	185	187	187	190	
		実績	165	147	142	158		
	受講者数	目標		3,000	3,000	4,290	4,340	4,390
		実績	3,055	4,194	4,241	3,242		
評価				回数B、参加者数B				

2. 1. 1自己処理水源の確保【自己処理水源の確保】

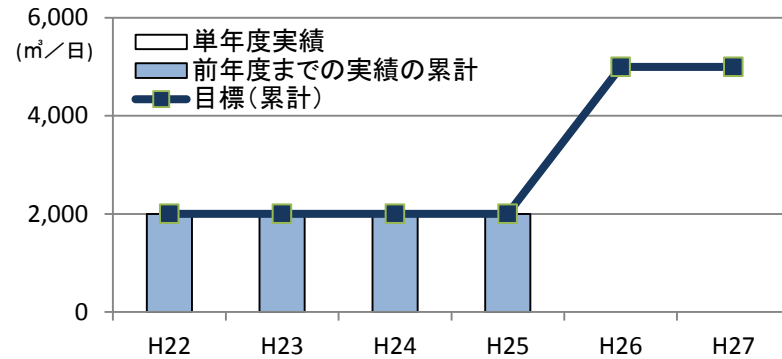
指標	自己処理水比率
取組状況	25年度には、奥の池取水塔へのポンプ設置等電気設備工事を施行するとともに、残区間の導水管を布設し、奥の池貯留水と浅井戸を御殿浄水場まで導水可能としました。柵川ダム建設事業については、継続して参画しています。



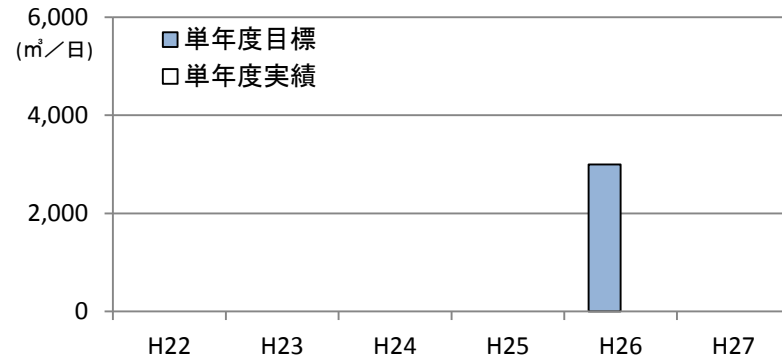
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		41.5	41.5	41.5	43.0	44.7
	実績	39.9	40.1	41.3	43.0		
	評価				S		

2. 1. 1 自己処理水源の確保【地下水源の確保】

指標	地下水源開発水量
取組状況	深井戸3井同時揚水試験等の結果を香川中央地域地下水利用対策協議会に諮り、渇水時の取水基準の緩和を提案しました。26年度には、深井戸を1井掘削するとともに、除鉄、除マンガン施設を築造予定としています。



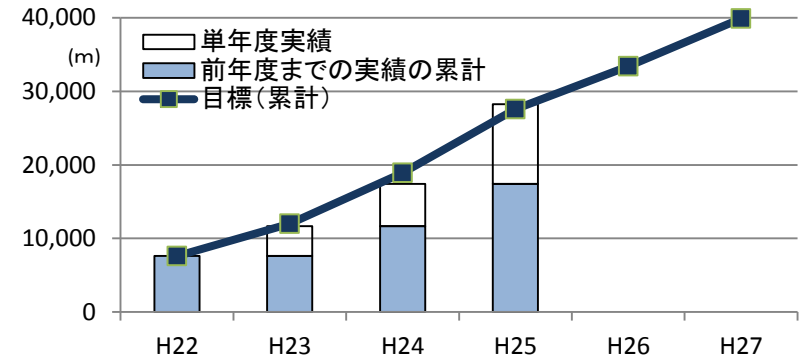
単年度ごとの比較



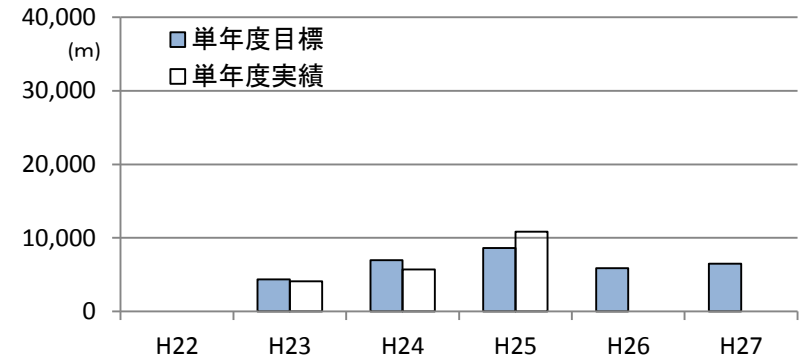
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		0	0	0	3,000	0
	実績		0	0	0		
	評価				—		
累積	目標		2,000	2,000	2,000	5,000	5,000
	実績	2,000	2,000	2,000	2,000		

2. 1. 2 水道施設の整備【配水管の更新推進】

指標	配水管布設替延長
取組状況	25年度に予定していた配水管の更新と、24年度から繰り越した配水管の更新6,409mについても取り組み、目標値を達成することができました。26年度には、5,740mの延長を予定しています。



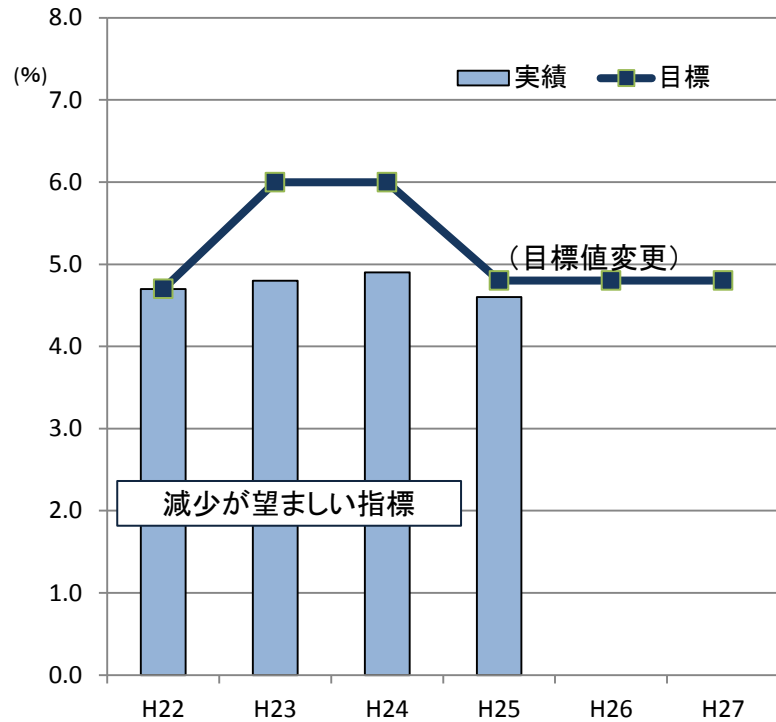
単年度ごとの比較



区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		4,365	6,960	8,630	5,860	6,475
	実績		4,079	5,713	10,827		
	評価				S		
累積	目標		11,975	18,935	27,565	33,425	39,900
	実績	7,610	11,689	17,402	28,229		

2. 1. 2水道施設の整備【漏水の防止】

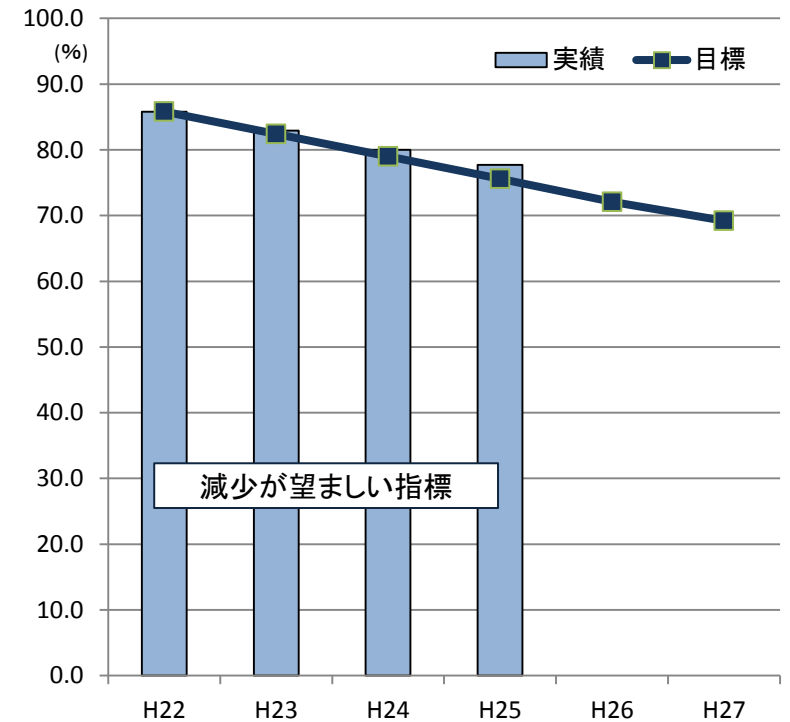
指標	漏水率
取組状況	漏水調査を計画どおり実施した結果、年間目標である漏水率4.8%以下を達成することができました。引き続き、漏水を早期に発見し対処するため、効果的な漏水調査を実施するとともに、修繕体制の強化を行い漏水率の低減に取り組みます。



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標		6.0	6.0	4.8	4.8	4.8
	実績	4.7	4.8	4.9	4.6		
	評価				S		

2. 1. 3水道水質の管理【鉛製給水管の取替推進】

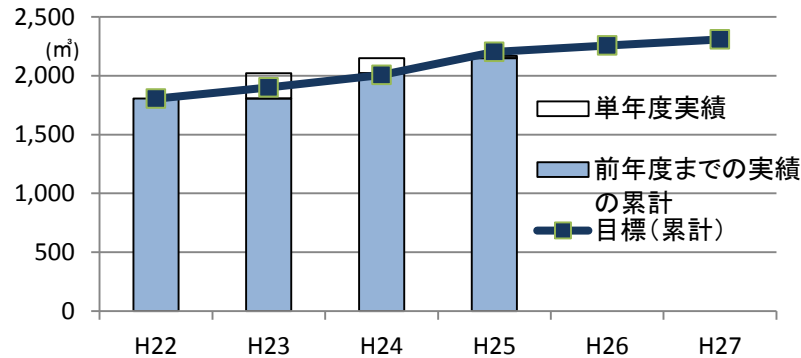
指標	鉛管残存率(17年度を100%とした場合の割合)
取組状況	助成制度等の更なる周知・啓発を図るため、ポスター・チラシの配布場所を拡大するほか、新たに連合自治会連絡協議会での説明と周知依頼を実施しました。しかし、下水道工事の減少により、移設工事に伴う取替が減少したため、目標値を達成できませんでした。引き続き、広報紙やホームページ、ポスター・チラシなどを活用した周知を図っていきます。



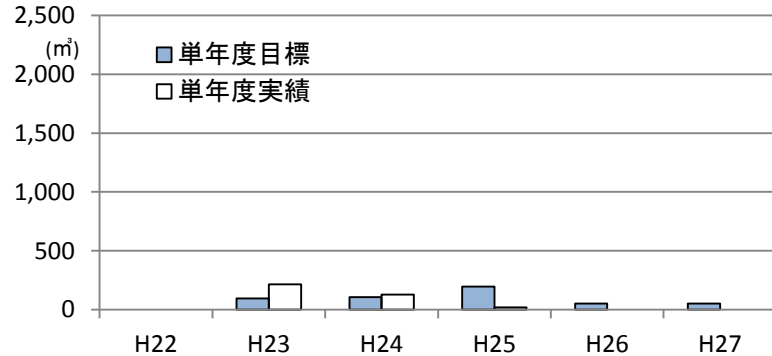
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標		82.4	79.0	75.6	72.1	69.2
	実績	85.8	82.9	80.0	77.7		
	評価				A		

2. 2. 1 雨水貯留施設の整備【雨水貯留施設の整備促進】

指標	雨水貯留施設設置助成により整備された施設の貯留量
取組状況	25年度は、予定の53%程度の助成件数であったが、中・大規模の申請がほとんどなかったため、単年度の貯留量は目標の10%程度に止まりました。引き続き、中・大規模の雨水貯留施設に関する助成制度に力を入れた周知・啓発を図っていきます。



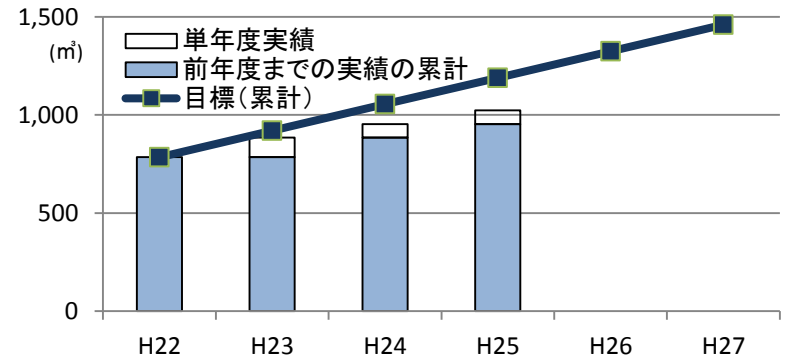
単年度ごとの比較



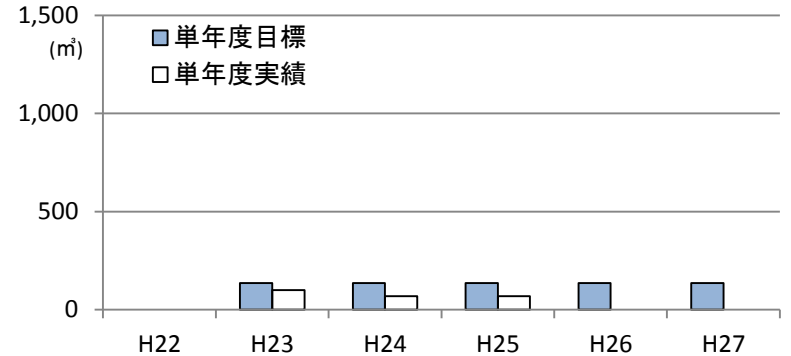
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		96	106	196	53	53
	実績		216	128	19		
	評価				E		
累積	目標		1,901	2,007	2,203	2,256	2,309
	実績	1,805	2,021	2,150	2,168		

2. 2. 1 雨水貯留施設の整備【雨水貯留施設の整備促進】

指標	不要浄化槽転用助成により整備された施設の貯留量
取組状況	25年度は、予定の59%程度の助成件数で、単年度の貯留量も目標の51%程度に止まりました。引き続き、雨水貯留施設に関する助成制度の周知・啓発を図っていきます。



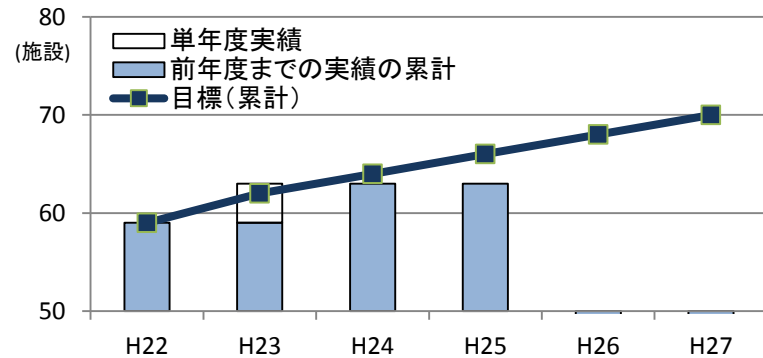
単年度ごとの比較



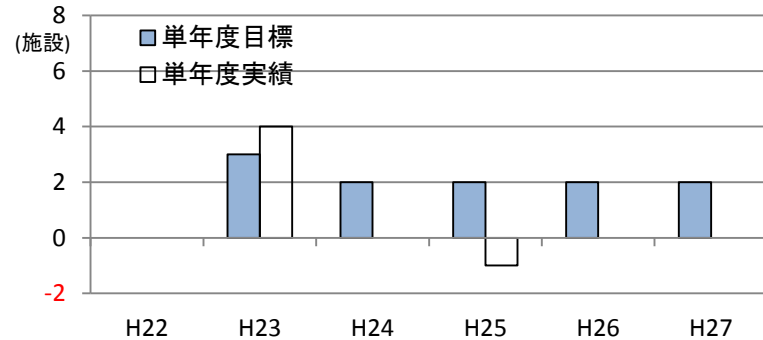
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		135	135	135	135	135
	実績		101	69	69		
	評価				D		
累積	目標		920	1,055	1,190	1,325	1,460
	実績	785	885	954	1,023		

2. 2 下水処理水再生水の利用促進【下水処理水再生水の利用促進】

指標	下水処理水再生水利用施設数
取組状況	25年度においては、新たに2施設への供給を開始したが、3施設で供給を廃止したことにより、25年度末現在62施設へ供給を行っています。引き続き、下水処理水再生水の有効利用を図るため、現供給区域内において、新たな利用施設の増加を図っていきます。



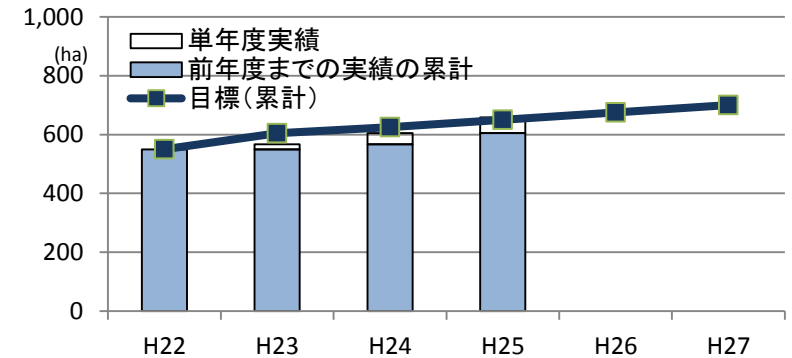
単年度ごとの比較



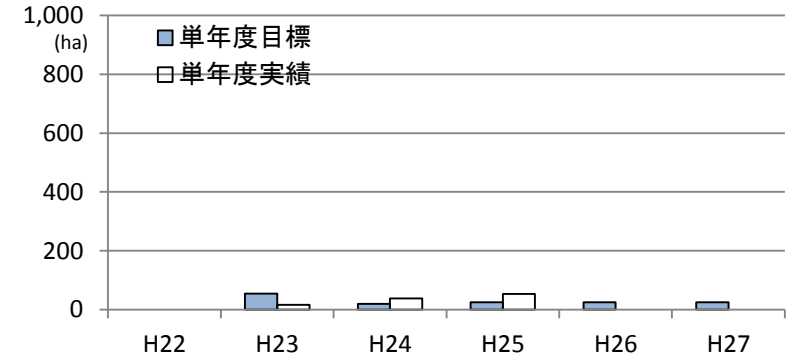
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		3	2	2	2	2
	実績		4	0	-1		
	評価				E		
累積	目標		62	64	66	68	70
	実績	59	63	63	62		

2. 3 1 水源地・水源林の保全【森林整備、造林事業の推進】

指標	分収造林事業による年間間伐・枝打ち面積(延べ数)
取組状況	25年度においては、分収造林事業による年間間伐・枝打ち面積が、単年度目標値及び累積目標値ともに達成し、水源涵養が図られました。



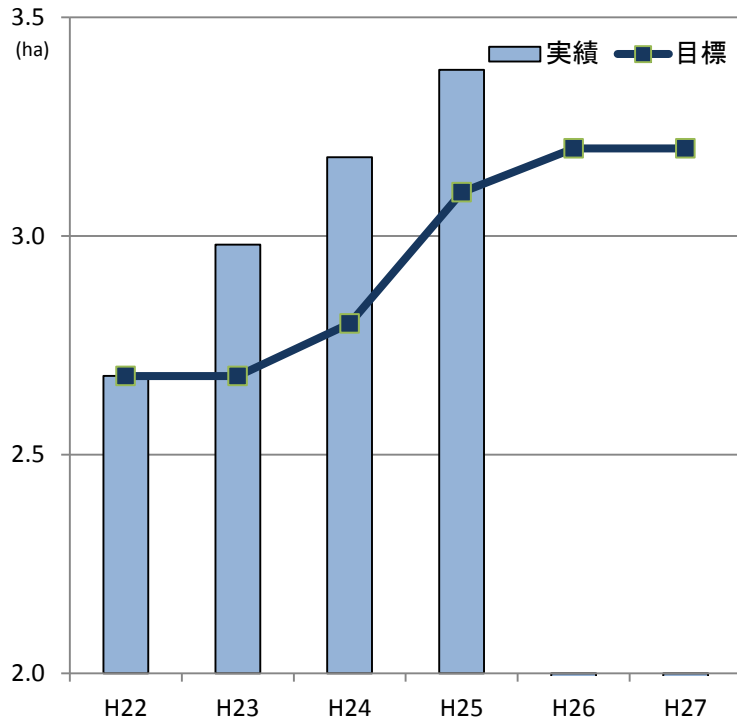
単年度ごとの比較



区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		55	20	25	25	25
	実績		17	38	53		
	評価				S		
累積	目標		605	625	650	675	700
	実績	550	567	605	658		

2. 3. 1 水源地・水源林の保全【「いざ里山」市民活動支援事業の推進】

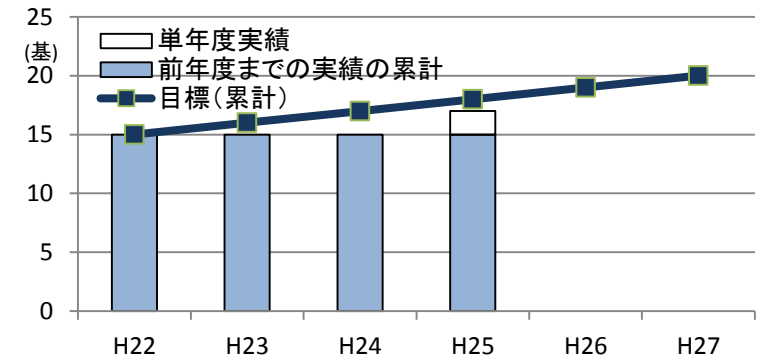
指標	「いざ里山」市民活動支援事業による年間整備保全面積
取組状況	25年度においては、1団体(まぐさ山)が活動に参加したことにより、目標値を達成しました。



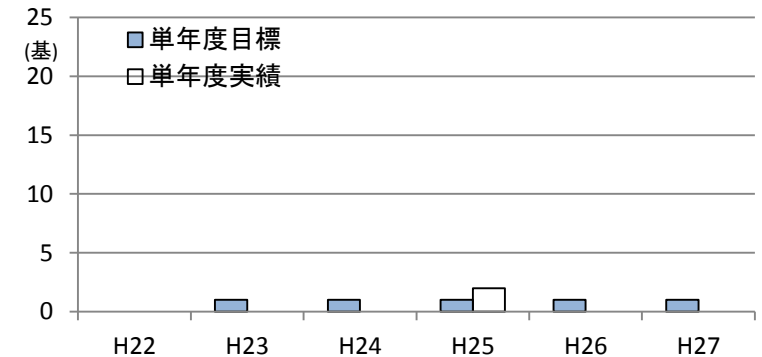
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標	2.68	2.80	3.10	3.20	3.20
	実績	2.68	2.98	3.18	3.38	
	評価				S	

2. 3. 2 地下水の涵養【雨水浸透施設の整備促進】

指標	雨水浸透施設設置助成制度による浸透ます設置数
取組状況	25年度は、単年度目標基数の2倍を達成しました。引き続き、雨水貯留浸透施設に関する助成制度の周知・啓発を図っていきます。



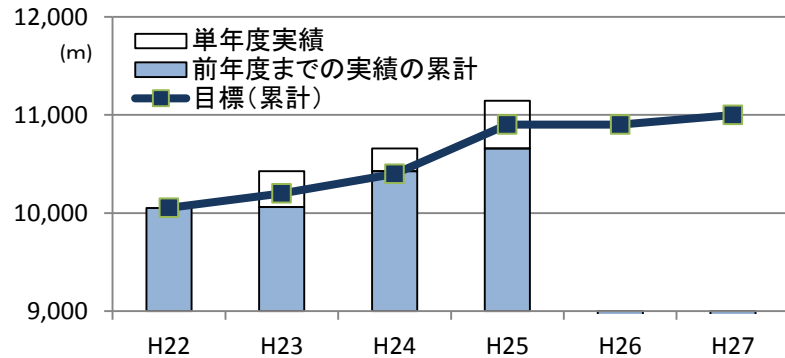
単年度ごとの比較



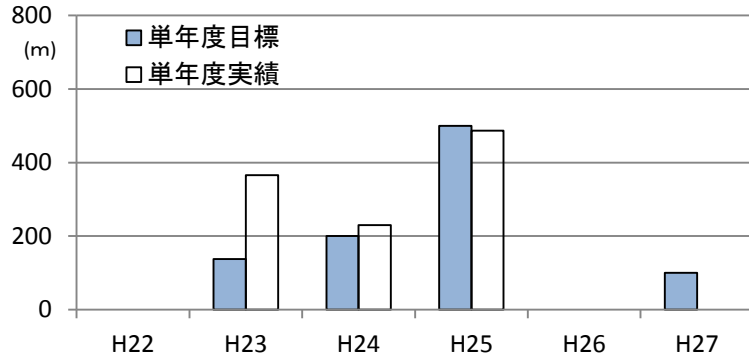
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標		1	1	1	1	
	実績		0	0	2		
	評価				S		
累積	目標		16	17	18	19	20
	実績	15	15	15	17		

2. 3. 2地下水の涵養【透水性舗装の整備推進】

指標	透水性舗装整備済延長
取組状況	郷東檀紙西線外1線の歩道L=487mについて、透水性舗装の整備を行いました。老朽化の著しい歩道の打換えや用途区域内の都市計画道路など新設道路整備に併せて透水性舗装を効率よく整備することとしています。



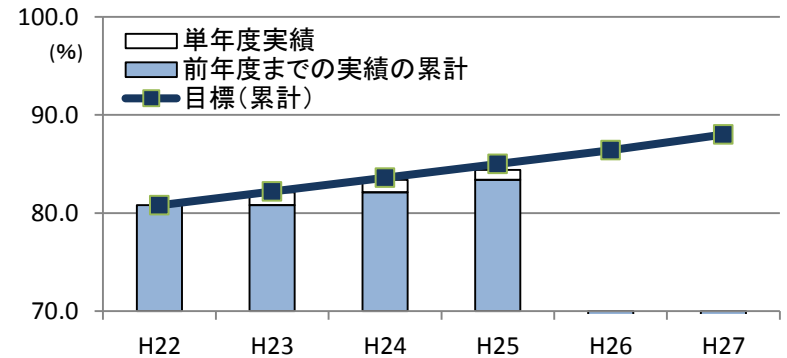
単年度ごとの比較



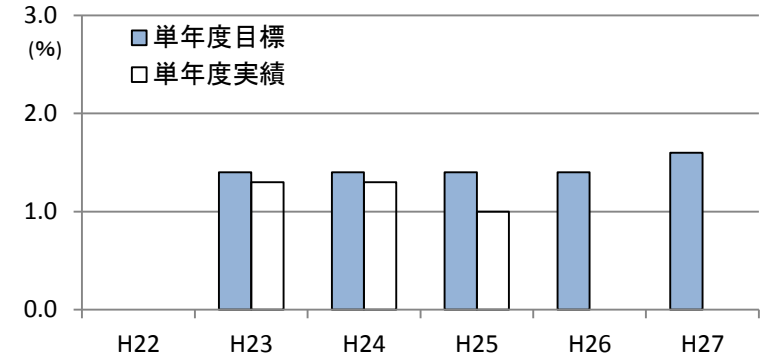
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		138	200	500	0	100
	実績		366	230	487		
	評価				A		
累積	目標		10,200	10,400	10,900	10,900	11,000
	実績	10,052	10,428	10,658	11,145		

2. 4. 1汚水処理施設の整備【全市域の下水道化】

指標	汚水処理人口普及率
取組状況	25年度において、汚水管をL=9,491m整備するとともに、合併処理浄化槽を1,003基整備促進したこと等により、汚水処理人口普及率は1.0%向上しました。引き続き、下水道事業計画区域内の未整備地区における計画的な下水道管の整備に努めるとともに、合併処理浄化槽の設置助成を行うことにより、汚水処理人口普及率の向上を図っていきます。



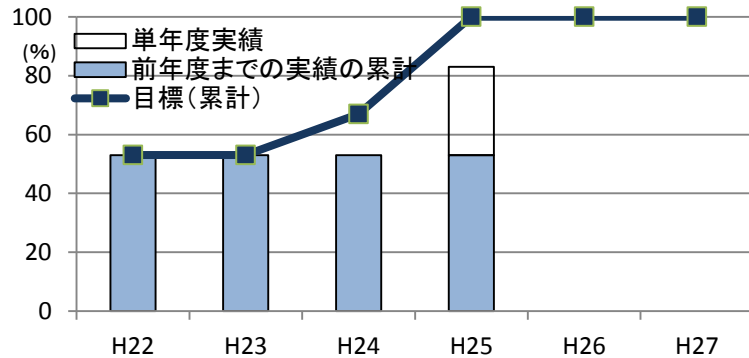
単年度ごとの比較



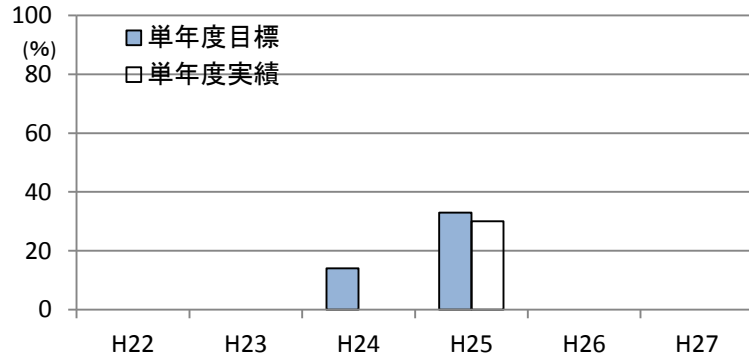
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		1.4	1.4	1.4	1.4	1.6
	実績		1.3	1.3	1.0		
	評価				B		
累積	目標		82.2	83.6	85.0	86.4	88.0
	実績	80.8	82.1	83.4	84.4		

2. 4. 2合流式下水道の改善【合流式下水道の改善】

指標	合流式下水道改善率
取組状況	25年度においては、合流区域において、汚濁物の流出防止を図る施設の設置を行いました。引き続き、合流式下水道区域において改善対策を図っていきます。



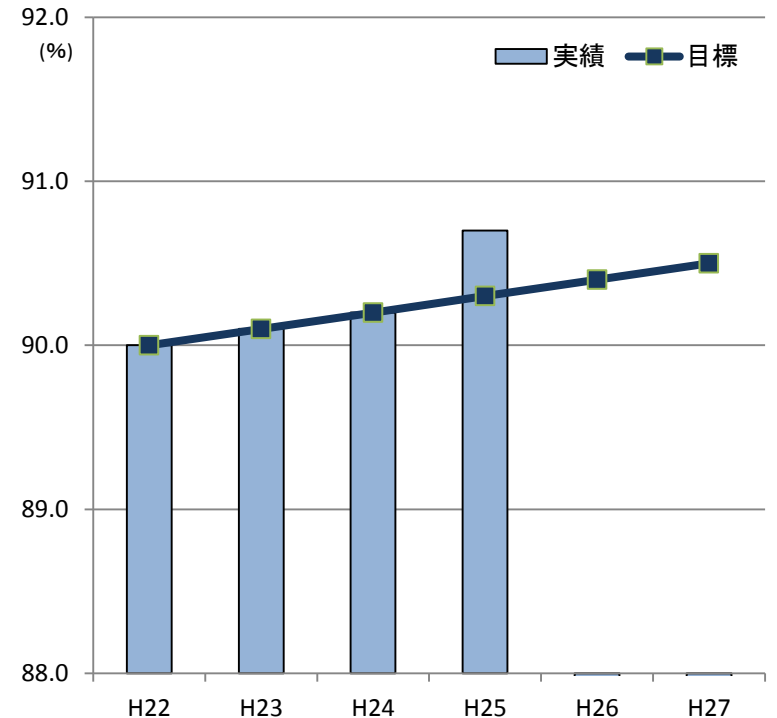
単年度ごとの比較



区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		0	14	33	0	0
	実績		0	0	30		
	評価				A		
累積	目標		53	67	100	100	100
	実績	53	53	53	83		

3. 1. 1生活排水対策の推進【公共下水道への接続促進】

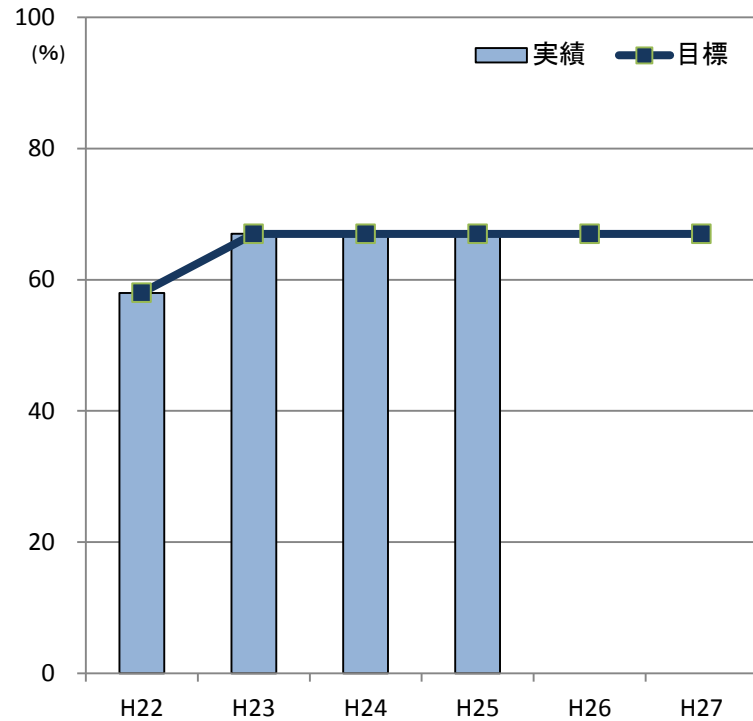
指標	公共下水道接続率
取組状況	25年度においては、区域内の建物新築に伴う接続件数の増加及び未接続世帯に対する戸別訪問指導等の実施により、目標値を達成しました。引き続き、計画的に局全職員による戸別訪問を行い、個々の世帯の実情に合わせた接続促進活動を行うことにより、更なる接続率向上に努めていきます。



区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		90.1	90.2	90.3	90.4	90.5
	実績	90.0	90.1	90.2	90.7		
	評価				S		

3. 1. 3河川・ため池の浄化対策の推進【河川の水質基準の達成】

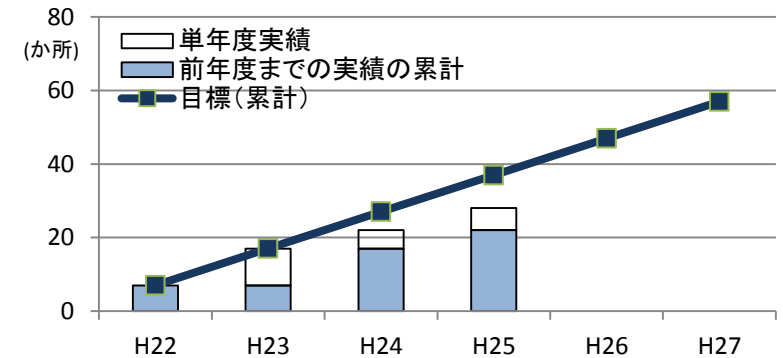
指標	河川環境基準(BOD)の達成率
取組状況	25年度においては、市内10河川12水域中8水域で環境基準を達成し、環境基準の達成率は目標値どおりの67%となりました。引き続き、公共用水域の水質監視を継続し、河川の水質基準の達成率の確認を行っていきます。



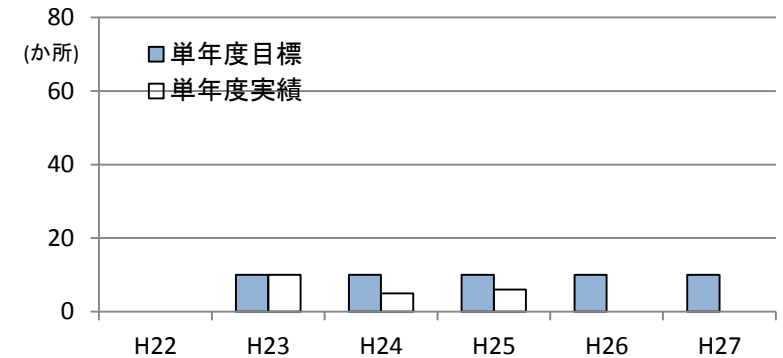
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標	67	67	67	67	67
	実績	58	67	67	67	
	評価				A	

3. 1. 3河川・ため池の浄化対策の推進【ため池の浚渫】

指標	浚渫したため池の箇所数(22年度を基準とする延べ数)
取組状況	25年度においては、6カ所の浚渫に取り組んだほか、34カ所の池干しに取り組みました。引き続き、ため池の浚渫については、年間10カ所実施を目標として取り組んでいきます。



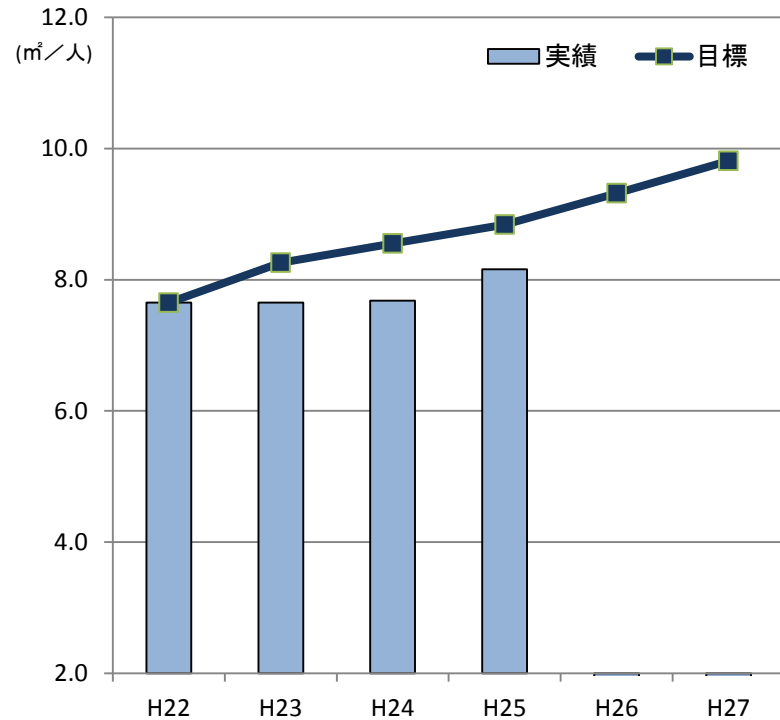
単年度ごとの比較



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標	10	10	10	10	10
	実績	7	10	5	6	
	評価				C	
累積	目標	17	27	37	47	57
	実績	7	17	22	28	

3. 2. 1 潤いのある緑地と水辺空間の創造(都市公園等の整備)

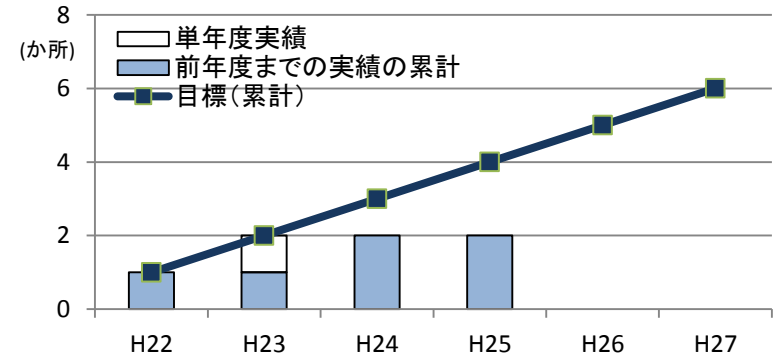
指標	1人当たり都市公園等面積
取組状況	25年度においては、東部運動公園等の整備が完了し、1人当たり都市公園等面積は8.16㎡となりました。26年度については、身近な公園整備事業の2公園及び竜王山公園(仮称)の整備を計画しているほか、高松海岸線の街路緑化及び天皇公園の公園芝生化も合わせて実施し、親しみやすい憩いの場としての水辺空間の創造を推進していきます。



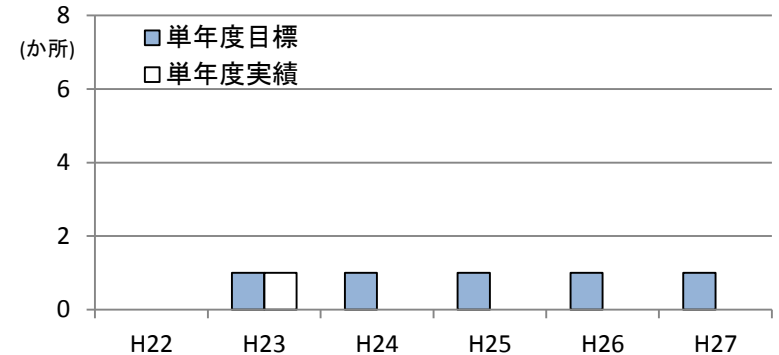
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		8.26	8.55	8.84		
	実績	7.65	7.65	7.68	8.16		
	評価				A		

3. 2. 2 生態系に配慮した水空間づくり(生態系保全水路工法の採用)

指標	生態系保全水路工法採用水路の数(22年度を基準とする延べ数)
取組状況	25年度においては、生態系保全水路工法の採用を推進したものの、取組か所はありませんでした。今後も、頭に出水がある用水路改修を推進していきます。



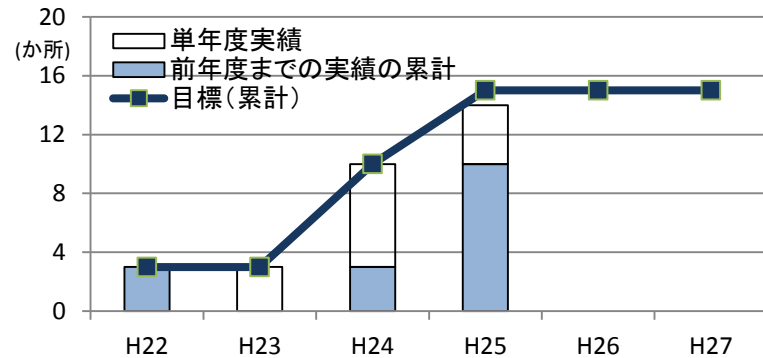
単年度ごとの比較



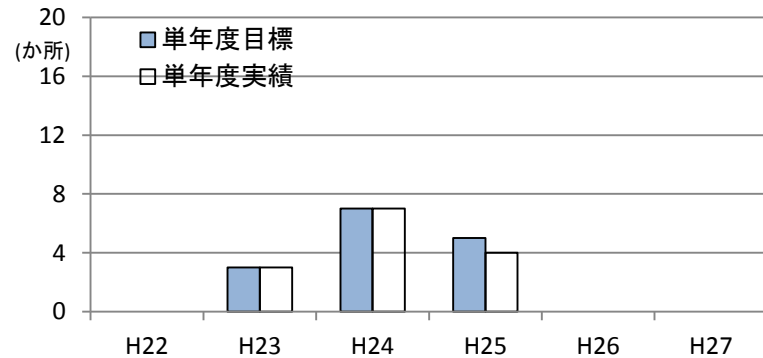
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		1	1	1	1	1
	実績		1	0	0		
	評価				E		
累積	目標		2	3	4	5	6
	実績	1	2	2	2		

3. 2. 3住民の憩いの場としてのため池整備【ため池の水辺環境整備】

指標	「ため池守り隊市民活動」支援事業取組か所数
取組状況	25年度においては、ため池景観整備維持管理16か所、「ため池守り隊」市民活動支援は14か所で取り組めました。引き続き、ため池の水辺環境の整備を図っていきます。



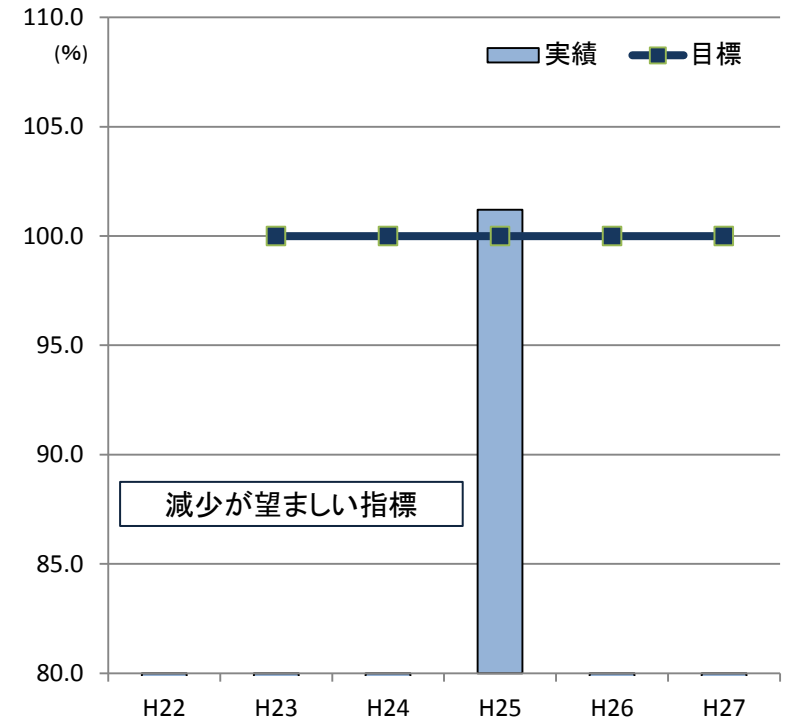
単年度ごとの比較



区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		3	7	5	0	0
	実績		3	7	4		
	評価				B		
累積	目標		3	10	15	15	15
	実績	3	3	10	14		

4. 1. 1適切な渇水対応の実施【渇水対応の実施】

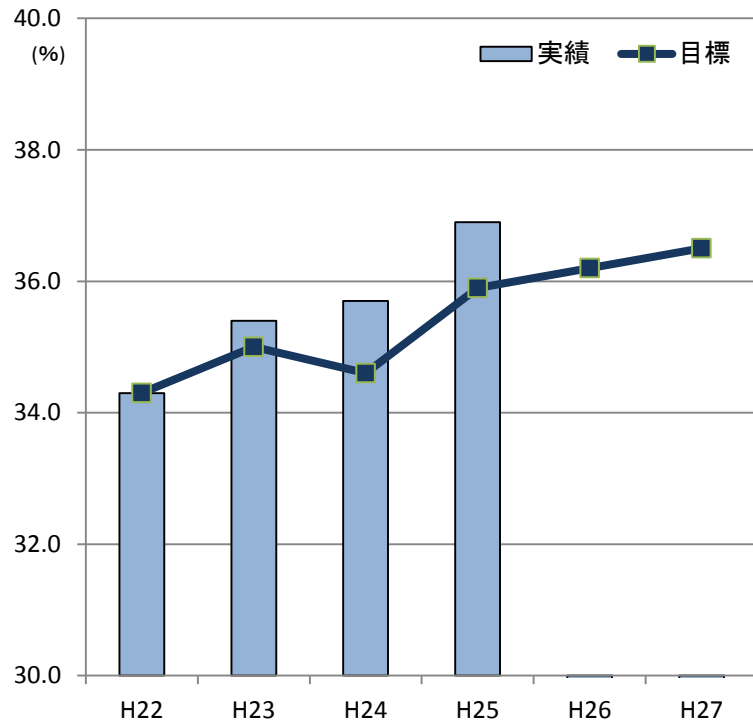
指標	渇水時の節水目標達成率
取組状況	25年度においては、渇水の影響を最小限に止めるため、取水制限の段階に応じて、自己処理水源の増量による安定給水や節水と水の有効利用の啓発活動に努めるなど、適時適切な渇水対応を行い、ほぼ予定どおり目標値を達成できた。今後も、香川用水の取水制限の段階に応じて、適時適切な渇水対応を行い、時間給水、断水の回避に努めます。



区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績				101.2		
	評価				A		

4. 2. 1施設の耐震化【水道施設の耐震化】

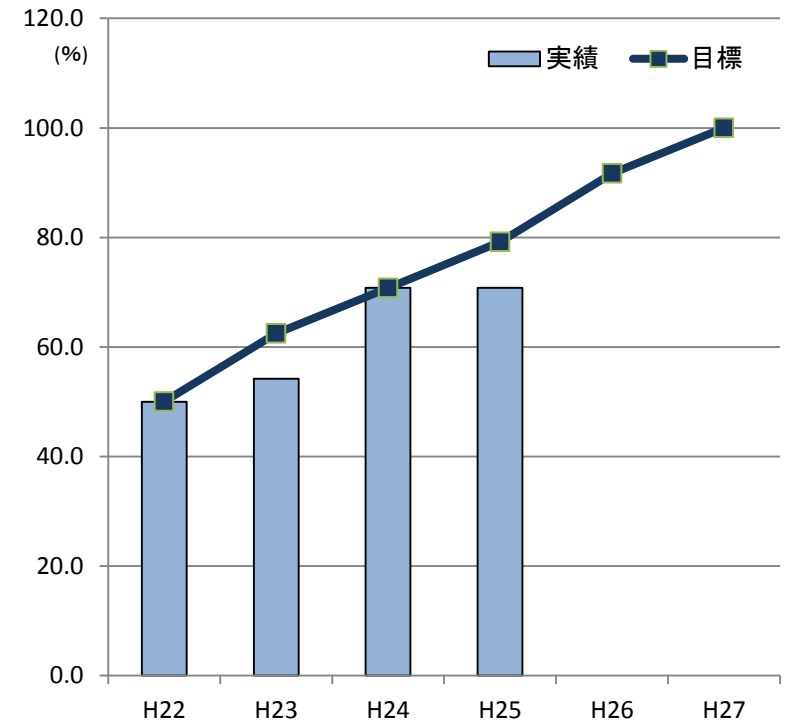
指標	基幹管路耐震化率
取組状況	予定していた配水管の布設・布設替に取り組んだほか、24年度から繰越した配水管の布設・布設替7,219mについても取り組み、目標値を達成しました。26年度には、配水管の布設・布設替8,565mに取り組み、更なる耐震化率の向上を目指します。



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
目標		35.0	34.6	35.9	36.2	36.5
実績	34.3	35.4	35.7	36.9		
評価				S		

4. 2. 1施設の耐震化【下水道施設の耐震化】

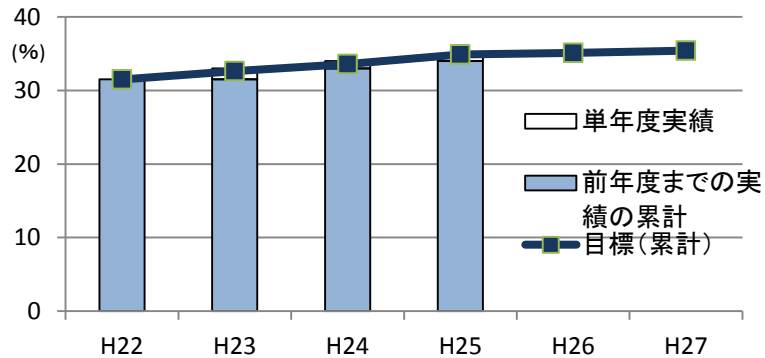
指標	下水処理場・ポンプ場耐震化率
取組状況	東部下水処理場の沈砂池機械棟耐震補強工事に着手したが、他工事との調整が必要であり26年度に繰り越しました。また、南部ポンプ場の耐震補強工事は入札不調のため26年度に繰り越しました。引き続き、この2施設の耐震補強工事のほか、牟礼浄化苑の耐震補強工事を実施することとしています。



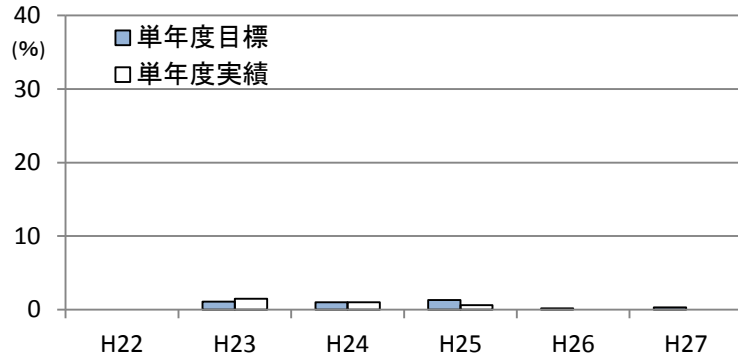
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
目標		62.5	70.8	79.2	91.7	100.0
実績	50.0	54.2	70.8	70.8		
評価				A		

4. 2. 1 施設の耐震化(下水道施設の耐震化)

指標	下水管きょ耐震化率
取組状況	25年度においては、下水道管きょの新設時に、耐震対策を行った管きょをL=13,451m整備しました。引き続き、下水道管きょの新設時に耐震化を進めていきます。



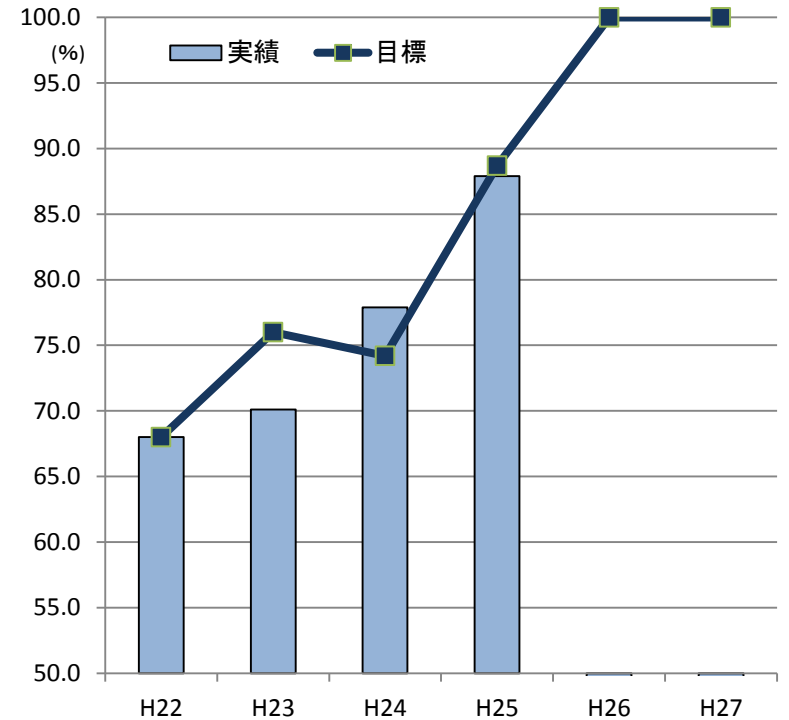
単年度ごとの比較



区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		1.1	1.0	1.3	0.2	0.3
	実績		1.5	1.0	0.6		
	評価				D		
累積	目標		32.6	33.6	34.9	35.1	35.4
	実績	31.5	33.0	34.0	34.6		

4. 2. 3 地域住民との連携の強化(自主防災組織の結成促進)

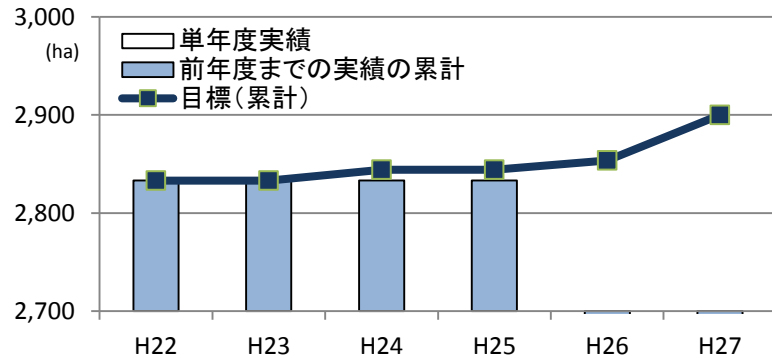
指標	自主防災組織の結成促進
取組状況	自主防災力強化事業補助金制度の活用により、小学校区等を単位とした実践的な訓練を27校区で実施しました。訓練後、包括的自主防災組織を25結成して自主防災組織の活動カバー率向上を図りました。引き続き、補助制度を活用した防災訓練を実施し、未結成地域へ包括的自主防災組織の結成を呼びかけ、活動カバー率100%を目指します。



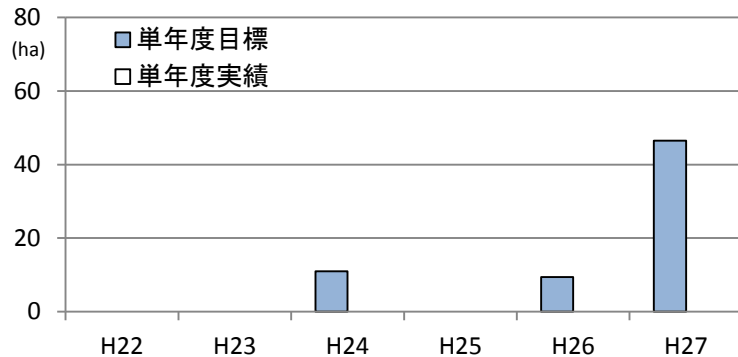
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		76.0	74.2	88.7	100.0	100.0
	実績	68.0	70.1	77.9	87.9		
	評価				A		

4. 3. 1 雨水対策の推進【雨水対策の推進】

指標	雨水対策整備済み面積
取組状況	25年度においては、雨水幹線整備として、中部バイパス第2幹線工事(2工区)、中部バイパス第3幹線工事のほか、仏生山第5雨水幹線などの整備を行いました。また、雨水ポンプ場整備として、福岡ポンプ場土木工事を行ったほか、屋島西ポンプ場土木工事に着手しました。今後も引き続き、雨水対策の推進を図っていきます。



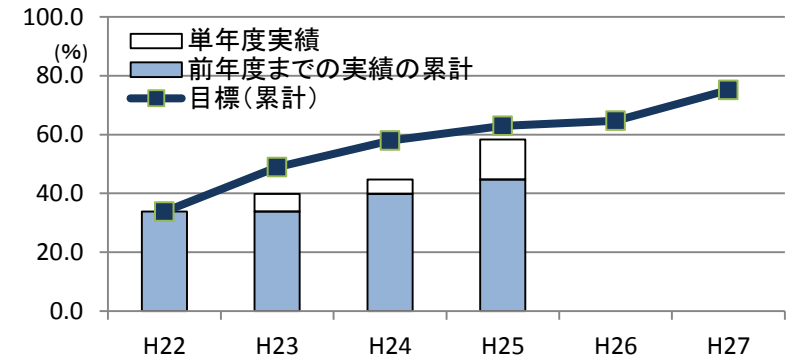
単年度ごとの比較



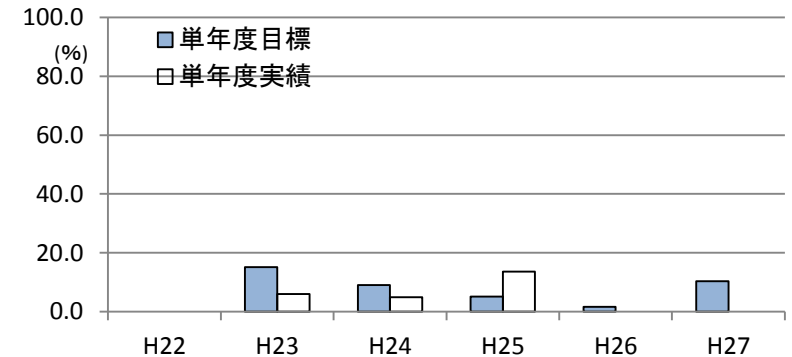
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		0	11	0	9	47
	実績		0	0	0		
	評価				—		
累積	目標		2,833	2,844	2,844	2,854	2,900
	実績	2,833	2,833	2,833	2,833		

4. 3. 2 高潮等対策の推進【高潮等対策の推進】

指標	防潮堤整備による浸水(床上下)棟の解消率
取組状況	25年度に予定していた単年度目標値5.1%及び24年度までに予定していた整備について取り組みました。今後も、限られた予算の中で、引続き浸水被害の解消を図るため、県と連携を図りながら防潮堤等の早期整備に努めます。



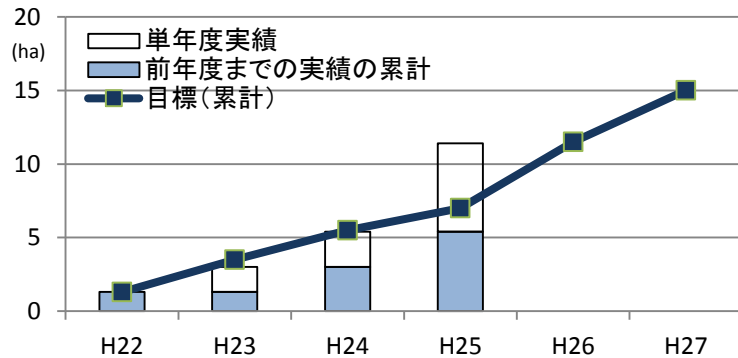
単年度ごとの比較



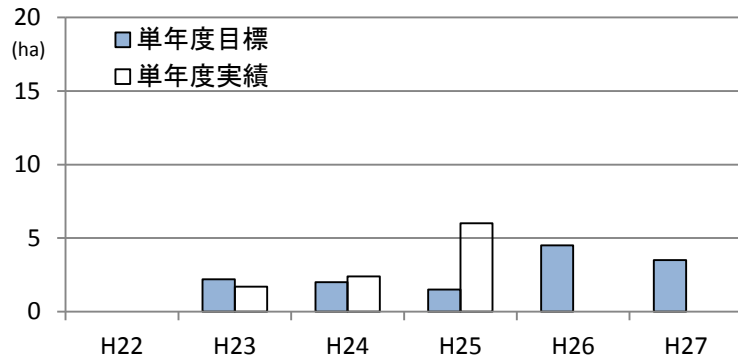
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		15.1	9.0	5.1	1.7	10.4
	実績		6.0	4.9	13.6		
	評価				S		
累積	目標		48.9	57.9	63.0	64.7	75.1
	実績	33.8	39.8	44.7	58.3		

4. 3. 3ため池・水田等の保全・活用【耕作放棄地の活用】

指標	耕作放棄地再生利用面積
取組状況	25年度については、新たな県の補助事業及び1か所当り1ha以上の大規模再生事業を実施したことにより、目標値を大幅に上回りました。26年度においても、補助事業を活用して、耕作放棄地の再生利用を図っていきます。



単年度ごとの比較

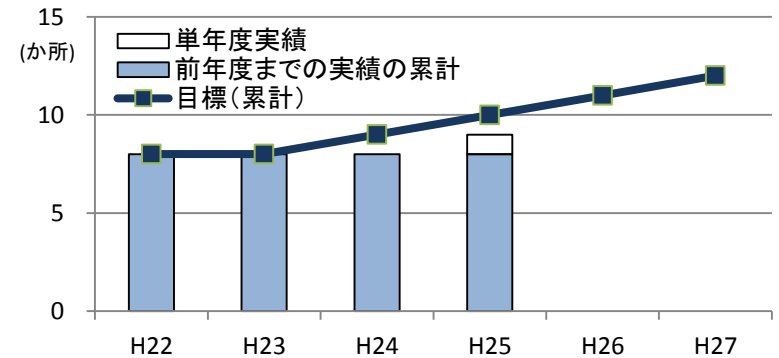


区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		2.2	2.0	1.5	4.5	3.5
	実績		1.7	2.4	6.0		
	評価				S		
累積	目標		3.5	5.5	7.0	11.5	15.0
	実績	1.3	3.0	5.4	11.4		

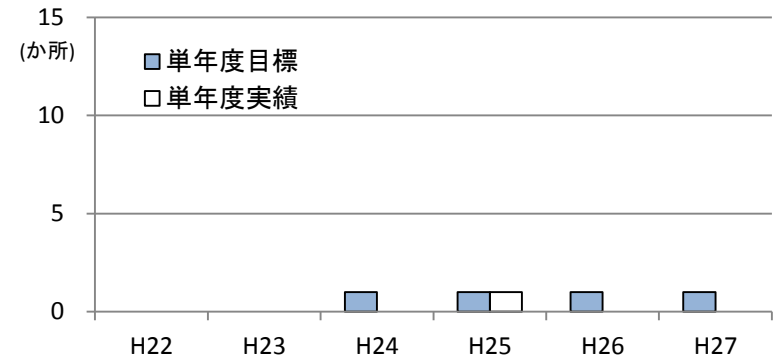
4. 3. 3ため池・水田等の保全・活用【ため池の整備】

指標	県営・団体営ため池整備か所数
取組状況	25年度においては、老朽ため池の整備について、県営1か所、団体営1か所で整備を行いました。引き続き、適切なため池の保全に努めていきます。

県営



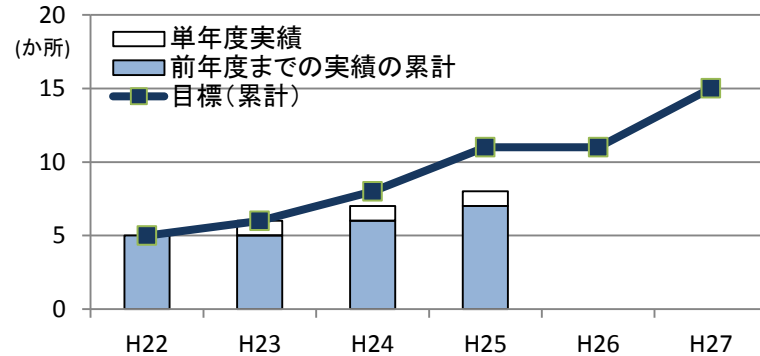
単年度ごとの比較



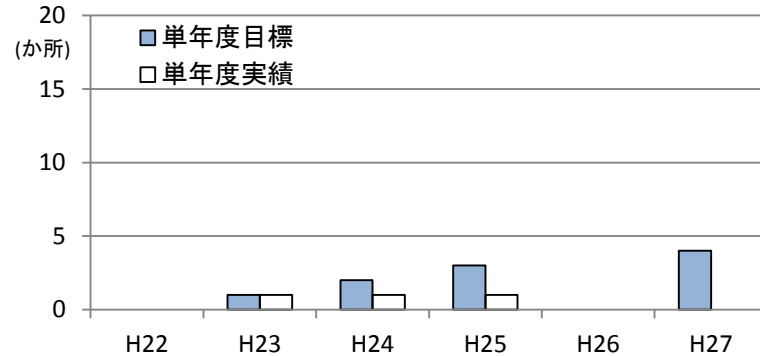
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		0	1	1	1	1
	実績		0	0	1		
	評価				(団体営を合わせて) D		
累積	目標		8	9	10	11	12
	実績	8	8	8	9		

4. 3. 3ため池・水田等の保全・活用【ため池の整備】

団体営



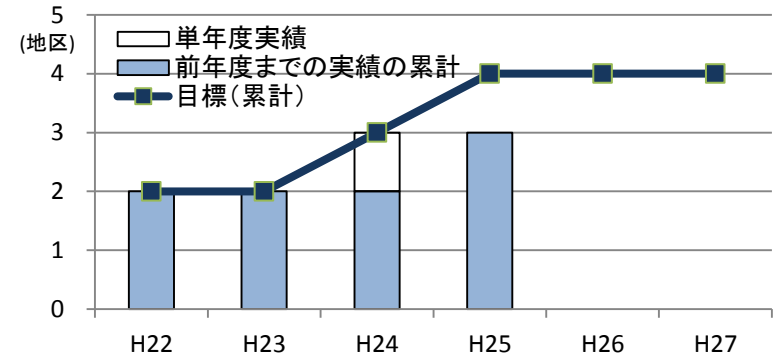
単年度ごとの比較



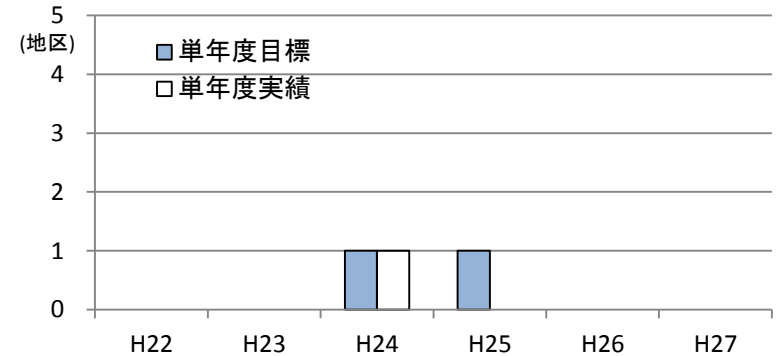
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		1	2	3	0	4
	実績		1	1	1		
	評価		(県営を合わせて)			D	
累積	目標		6	8	11	11	15
	実績	5	6	7	8		

4. 3. 3ため池・水田等の保全・活用【ため池の整備】

指標	ため池再編整備地区数
取組状況	25年度においては、ため池再編整備について、27年度ため池再編計画の策定に向け、関係機関等と事前協議に取り組みました。

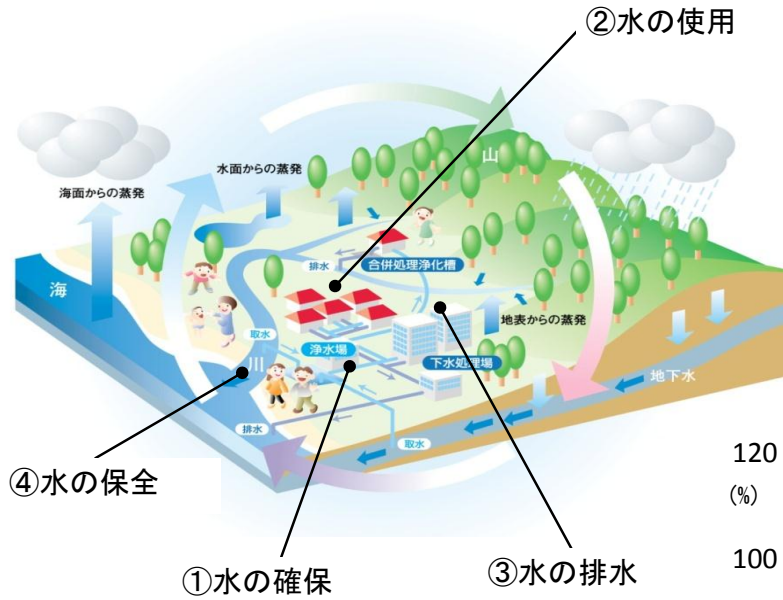


単年度ごとの比較



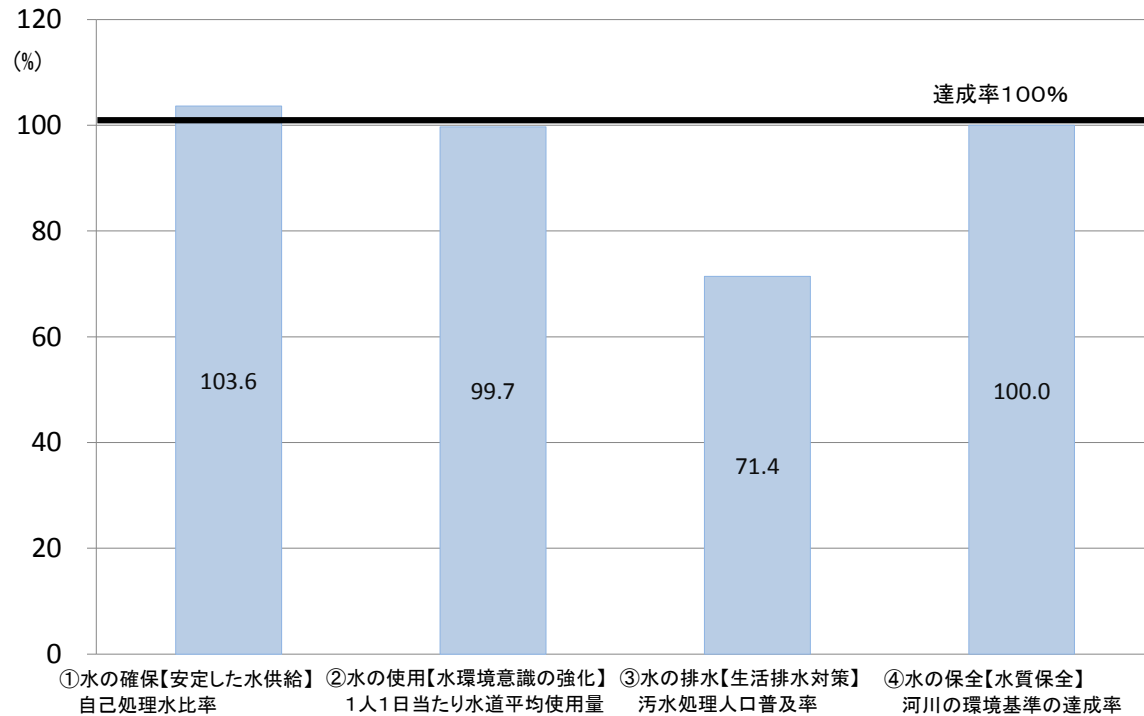
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標		0	1	1	0	0
	実績		0	1	0		
	評価				E		
累積	目標		2	3	4	4	4
	実績	2	2	3	3		

全体目標の評価結果



取組事項	指標	H25年度		
		目標値	実績値	達成率
自己処理水源の確保 【安定した水供給】	自己処理水比率(%)	41.5	43	103.6
水使用量の縮減 【水環境意識の強化】	1人1日当たり水道平均使用水量(リットル)	305	306	99.7
全市域の下水道化 【生活排水対策】	汚水処理人口普及率(%) (H25年度増加分のみ)	1.4	1	71.4
河川の水環境基準の達成 【水質保全】	河川の水環境基準の達成率(%)	67	67	100.0

平成25年度の目標値に対する実績値の達成率

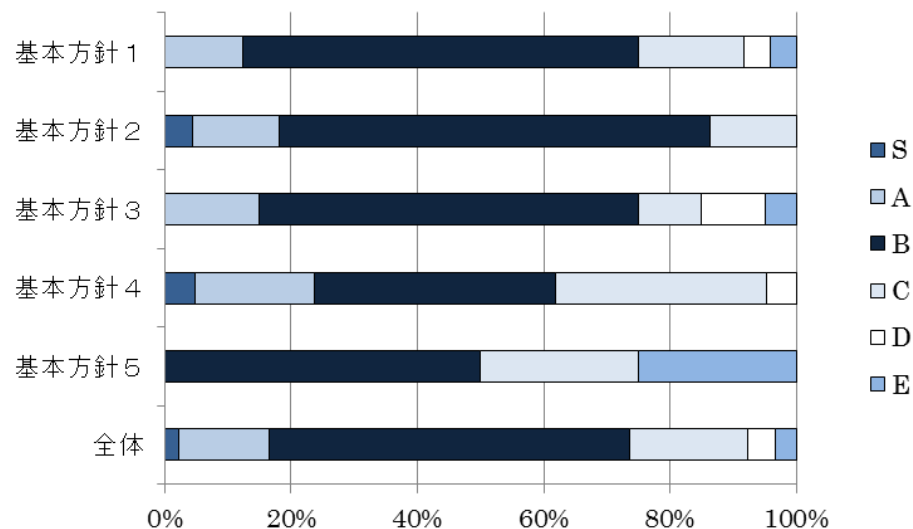


取組目標のうち、計画全体の達成度を総合的に評価できるよう、①水の確保【安定した水供給】、②水の使用【水環境意識の強化】、③水の排水【生活排水対策】、④水の保全【水質保全】の水循環の観点から、次の4つの指標を全体目標として設定しています。

(2) 具体的取組事業 9 1 事業の評価結果

ア 総括表

評価	S	A	B	C	D	E	計
達成率	96%以上	96%未満 86%以上	86%未満 71%以上	71%未満 56%以上	56%未満 41%以上	41%未満	
基本方針1 身近な水環境の意識の強化							
取組事項数	0	3	15	4	1	1	24
割合	0%	13%	63%	16%	4%	4%	100%
基本方針2 水循環の健全化							
取組事項数	1	3	15	3	0	0	22
割合	4%	14%	68%	14%	0%	0%	100%
基本方針3 良好な水辺環境の創出							
取組事項数	0	3	12	2	2	1	20
割合	0%	15%	60%	10%	10%	5%	100%
基本方針4 安全で安心なまちづくりの推進							
取組事項数	1	4	8	7	1	0	21
割合	5%	19%	38%	33%	5%	0%	100%
基本方針5 持続可能な水の利用および管理のあり方の検討							
取組事項数	0	0	2	1	0	1	4
割合	0%	0%	50%	25%	0%	25%	100%
【全体】							
取組事項数	2	13	52	17	4	3	91
割合	2%	15%	57%	19%	4%	3%	100%



イ 基本方針ごとの分析

【基本方針1 身近な水環境の意識の強化】

節水キャラクター「タメット」を活用した「節水キャンペーン」の実施や、水道週間にあわせたイベントの開催など、節水や水の有効利用について、様々な機会を通じて周知・啓発を図るとともに、学校や生涯学習の場での環境教育の推進などに取り組みました。また、早明浦ダム周辺ボランティア清掃や早明浦湖水祭「四国の子ども交歓会」などを通じて水源地域との交流活動も行いました。その結果、B評価以上の割合は76%となり、前年度と比べて1ポイント上昇するなど、一定の成果が得られたものと考えられます。

【基本方針2 水循環の健全化】

柵川ダム建設事業や奥の池及び周辺井戸からの取水など、新たな自己処理水源の開発に取り組んだほか、雨水タンク等設置助成の実施など、雨水や下水処理水再生水の活用を推進しました。また、分収造林事業やいざり山市民活動支援事業などを通して水源地の保全、水源涵養にも努めました。その結果、B評価以上の割合は86%（前年度87%）となり、水循環の健全化に向けて一定の成果が得られたものと考えられます。

【基本方針3 良好な水辺環境の創出】

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換や公共下水道への接続など、生活排水対策の推進について周知・啓発に努めたほか、河川・ため池の水質監視を行うための水質測定や、水質保全のための池干しによる水の入れ替えや浚渫、ため池守り隊市民活動支援事業などを推進しました。その結果、B評価以上の割合は、前年度と比べて5ポイント低い75%となっています。今後、評価の低かった、生態系保全水路工法の導入促進などについて取り組んでいく必要があります。

【基本方針4 安全で安心なまちづくりの推進】

夏季渇水時に市内水利関係者との連携を図り、円滑な水融通により断水等を回避することができたほか、浸水対策とし、雨水幹線や雨水ポンプ場の整備を行いました。また、地域住民と連携して、小学校区等を単位とした防災訓練の実施や地域防災リーダー育成にも努めました。その結果、B評価以上の割合は前年度と同じ62%となっています。今後予想される東南海・南海地震の発生に備え、引き続き、応急給水体制の整備と対応訓練などの危機管理体制の充実を図る必要があります。

【基本方針5 持続可能な水の利用および管理のあり方の検討】

全ての取組事業がB評価以下となっており、今後、本市が目指す持続可能な水環境を形成するための基盤となる、水の利用・管理・保全にかかわる多様な主体がお互いに交流を深め、それぞれの課題を理解し、連携・協力できる環境を醸成していくことが重要となっています。

【全体】

全体としては、B評価以上が67項目、74%となっており、概ね計画に沿った取組が行われ、一定の成果が得られたものと考えられます。

ウ 一覧表（事業別）

基本方針1 身近な水環境の意識の強化

具体的取組	H25年度取組実績	H25			H24	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
1.1.1 啓発活動の強化							
「我が家の水がめづくり」の周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> 我が家の水がめづくり 節水キャラクター「タメット」を活用した節水に関する事業や啓発活動を総称し、取組を推進しました。 巧水キャンペーン 24年度から、名称を「節水キャンペーン」から「巧水キャンペーン」に変更し、「水を巧みに使い、水を大切にしている高松」を全国発信し、水事情の厳しい夏場のイメージアップを図りました。また、水環境や節水に関心の薄い市民への啓発を強化するため、水を大切にするために実践していることなどを川柳で表現したものを募集し、「巧水スタイル」を推進しました。応募件数：1,005件 	73	91%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 巧水キャンペーン 水環境や節水に関心の薄い市民への啓発を強化するため、水を大切にするために実践していることなどを川柳で表現したものを募集し、「巧水スタイル」を推進します。応募件数は、昨年度と同程度を目指します。（目標）巧水キャンペーン応募券集：1,000件 	水環境対策室
広報媒体の一層の活用	<ul style="list-style-type: none"> 「広報たかまつ」における、巧水キャンペーンのPR及び市のホームページにおいて、水環境基本計画第1期実施計画平成24年度実績報告書を掲載し、進捗状況を公表するとともに、水環境に対する意識啓発を実施しました。 広報紙（1回掲載）、メルマガもっと高松（1回）、Twitter(1回)、ホームページ掲載、チラシ配布 	68	85%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 「広報たかまつ」における、巧水キャンペーンのPR及び市のホームページにおいて、水環境基本計画第1期実施計画実績報告書を掲載し、進捗状況を公表するとともに、水環境に対する意識啓発を図ります。 広報紙（3回程度）、メルマガもっと高松（3回程度）、Twitter(3回程度)、Facebook（3回程度）ホームページ掲載、チラシ配布 	水環境対策室
	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道局の独自広報紙「みんなの水」や市ホームページ、ケーブルテレビ、有線放送、Twitter、パンフレットを活用し、水環境や水資源の大切さに対する啓発を行いました。 広報紙「みんなの水」（4回発行）、ケーブルテレビ（1回）、有線放送（1回）、Twitter(1回)、市ホームページ掲載、パンフレット配布 	57	71%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙「みんなの水」（4回発行）を始め、市ホームページ、ケーブルテレビ、有線放送、Twitter、パンフレットなどの広報媒体を更に活用し、水環境や水資源の大切さに対する意識啓発を図ります。 	企業総務課

具体的取組	H25年度取組実績	H25			H24	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
水に関する啓発イベント等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・巧水キャンペーンのほか、8月1日から7日の「水の週間」にあわせて、節水型街づくり推進協議会が実施する「節水ウィーク」に参加しました。また、水道週間にあわせて、水源地紹介展及び水源地（高知県嶺北地域、高松市塩江町）の物産市を実施し、市民の水環境への興味・関心を高めるきっかけづくりを行いました。 	61	76%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、巧水スタイル推進チーム及び水源地と連携し、巧水スタイルヒント！ボードの活用や物産展を通して、水の有効利用について、広く市民に周知します。 	水環境対策室
	<p>《水道週間関連行事》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第41回水とわたしたち展」 5月27日から6月30日まで 市内の小中学生・一般を対象に募集した絵画・ポスター、習字、標語のうち入賞作品を展示 応募作品数 554点（H24 1,201点） ・「上下水道展・上下水道相談所」 5月27日から5月31日まで 水源保全活動を紹介したパネル展示、上下水道局職員による相談コーナー 相談件数 18件（H24 11件） ・「水道施設等見学会」 6月1日 浄水場の見学会 参加人数 10人（H24 52人） ・「第16回夕ぐれコンサート」 6月1日 コンサートや水とわたしたち展の最優秀作品の表彰式のほか、「巧水（水を賢く使う）スタイル」のからくり装置等の展示 参加人数 約300人（H24 約800人） <p>《水の週間関連行事》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親子上下水道教室」8月8日 上下水道施設見学や水質実験 参加人数 19人（H24 54人） <p>《下水道の日関連》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「施設見学会」 （上下水道モニター、上下水道事業経営懇談会委員対象） H25 御殿浄水場、水道資料館、香東川浄化センターの見学を予定していたが、台風による天候不良のため中止となった。 水に関するイベントを開催し、イベントごとのアンケートでも概ね好評を得ている。 	58	73%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・水に関するイベントの開催 水道週間関連行事 「第42回水とわたしたち展」 「上下水道展・上下水道相談所」 「水道施設・下水道施設見学会」 「第17回夕ぐれコンサート」 水の週間関連行事 「親子上下水道教室」 下水道の日関連行事 「施設見学会」 	企業総務課

具体的取組	H25年度取組実績	H25		H24		今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
1.1.2各種データの管理体制の整備と情報公開							
水環境に関するデータの集約化とワンストップでの情報公開の検討	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度末にバナー広告を掲載し、水環境の「見える化」及び「水環境に関するデータの集約化とワンストップでの情報公開」を実施しています。 また、上下水道局とのリンクを貼り、毎日の給水量の配信もしています。 平成25年度 アクセス数：5,423件 	69	86%	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、本市及び関係機関・団体が有する水に関する各種データを集約し、分かり易く公表することを目標に、情報発信力の強化を図ります。 (目標) アクセス数：5,000件 	水環境対策室
水環境の「見える化」の検討							
1.1.3節水型機器の普及促進							
節水型機器の普及の啓発	<ul style="list-style-type: none"> 市のホームページ及び巧水キャンペーン等水に関するイベントにおいて、節水方法や節水機器の紹介を行い、節水及び節水意識の啓発を行いました。 	61	76%	B	D	<ul style="list-style-type: none"> 巧水パンフレット、市のホームページ及び巧水キャンペーン等水に関するイベントにおいて、節水方法や節水機器の紹介を行い、節水及び節水意識の啓発を行います。 	水環境対策室
	<ul style="list-style-type: none"> 「水の上手な使い方」や「節水」をテーマにした「上下水道知ってトーク」を実施しました。 また、小学校での出前授業で、節水コマの紹介をし、学校の蛇口にも有効であることを紹介しました。 	61	76%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 「水の上手な使い方」や「節水」をテーマとした「上下水道知ってトーク」を実施する。また、イベント等で機会を見つけ、様々な方法で水の有効利用を呼びかけるとともに、節水器具を紹介します。 	企業総務課
節水・循環型水利用計画書の提出・指導等	<ul style="list-style-type: none"> 水を大切に使う循環型都市を目指し、市民・事業者・行政の協働による取組を進めるため、「高松市節水・循環型水利用の推進に関する要綱」に基づき、延べ面積2千平方メートル以上の大規模建築物を建築する際、節水・循環型水利用計画書の提出依頼及び指導を実施しました。 提出件数20件 	63	79%	B	C	<ul style="list-style-type: none"> 節水・循環型水利用計画書の提出漏れを防ぐため、関係各課との連携を強めるとともに、施工主に依頼、指導を行います。 	水環境対策室
「巧水（たくみ）スタイル推進チーム」への参加	<ul style="list-style-type: none"> H26.3.26（東京） 巧水スタイル推進チーム全体会議に出席し、25年度事業報告及び26年度事業計画等の検討を行いました。また、巧水ボードの展示を巧水スタイル推進チームとして行いました。 	54	68%	C	B	<ul style="list-style-type: none"> 巧水スタイル推進チーム全体会議に出席し、節水機器の啓発に関する検討を実施します。 	水環境対策室

具体的取組	H25年度取組実績	H25			H24	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
1.1.4節水型料金体系の検討							
節水型料金体系の検討	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年9月に策定した高松市上下水道事業基本計画において、持続可能かつ健全な事業運営が行えるよう、真に必要な収入や費用負担の公平性に努めながら、現行料金水準の維持を基本とすることとしたため、将来を見据えた水道料金等の適正化について、他都市の料金体系を調査しました。 結果、水を取り巻く環境を踏まえた他都市の料金体系を把握することができました。 	57	71%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 高松市上下水道事業基本計画(H24年9月策定)において、持続可能かつ健全な事業運営が行えるよう、真に必要な収入や費用負担の公平性に努めながら、現行料金水準の維持を基本に、将来を見据えた水道料金等の適正化について、他都市の料金体系を調査するとともに、本市の水需要構造の分析及び将来的な業務計画、財政状況、需要構造などを踏まえ、本市にとって最もふさわしい料金体系について、引き続き検討を行います。 	お客さまセンター
1.2.1学校等での環境教育の推進							
小・中学校における水環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市内の中学生が参加し、香川用水の水源環境の見学や体験型学習を通して、水環境への関心を深め、節水や水質保全などの実践行動への意識を高めました。 総合的な学習の時間や社会科の授業等を通して、副読本を活用した水環境学習の充実に努めました。 参加校 16校 参加生徒数 2,732人 	60	75%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 市内の中学生が参加を計画し、水源ダムや関連施設等を活用した体験型学習を通して、水環境への関心を高め、節水や水質保全などの実践行動につなげていきます。 副読本を活用して、小学校の総合的な学習の時間や社会科の授業等における水環境学習を充実させていきます。 	学校教育課
子どもに対する水環境学習の場の確保	<ul style="list-style-type: none"> 「こどもエコクラブ」については、平成22年度における国の事業仕分けにより、廃止の判定を受けたが、既存のクラブには、環境学習活動の一環として講座開催に対する講師謝金などの支援に努めました。 	22	28%	E	E	<ul style="list-style-type: none"> 既存のクラブに対しては、他の環境学習活動と同様に、講座開催に対する講師謝金などにより支援に努める。 	環境保全推進課
1.2.2生涯学習の場における環境教育の推進							
環境学習講座等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター、コミュニティセンターや環境保全推進課分室において、環境学習講座を開催するとともに、広報誌やホームページにより周知に努めました。 また、環境活動団体との意見交換会などにより、情報収集に努め企画内容の改善に努めました。 開催回数：70回 受講者数：1,937人 	58	73%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 25年度と同様に、環境学習講座を開催していくとともに、環境活動団体や関係機関と協力し、26年度の企画として、瀬戸内海に親しむ講座を開催する。 	環境保全推進課
	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターやコミュニティセンターにおいて、水問題学習や環境問題学習を内容とした講座を開催しました。 講座開催回数：158回、受講者数：3,242人（うち、水問題5回、133人） 	41	51%	D	S	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターやコミュニティセンターにおいて、水問題学習や環境問題学習を内容とした講座を開催することにより、市民の環境に関する意識の啓発を図る。 	生涯学習課 生涯学習センター

具体的取組	H25年度取組実績	H25			H24	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
1.3.1地域コミュニティ・市民活動団体・企業との協働推進							
地域コミュニティや市民活動団体への支援	・平成25年度ゆめづくり推進事業では、塩江地区コミュニティ協議会が水に関する環境保全促進事業に取り組み、清掃活動等を通して、広く住民に対する環境保護啓発活動を進めました。	48	60%	C	B	・ゆめづくり推進事業では、水関連の環境保全促進事業に取り組む地区もあり、今後も、地域コミュニティ協議会と協働し、水に関する環境保護活動への取組提案については、採択する予定です。	地域政策課
地域コミュニティ等における環境学習・環境行動の支援	・生涯学習センターやコミュニティセンターなどからの依頼により、講師派遣を行なうとともに、自主的な学習活動を行う環境活動団体等に補助金を交付することにより、その活動を促進し、意識の高揚や協働の推進に努めました。 環境学習事業補助利用件数：4件	61	76%	B	B	・昨年度は、4件であった環境学習事業の補助交付を、環境活動団体に働きかけ、利用件数の増加を図ります。また、環境活動団体から要望のあった団体について、活動発表の場を設け、その活動を促進します。	環境保全推進課
環境リーダーの活用	・環境リーダー養成講座修了者の一部は、自主的に地元の清掃活動を行ったり、地域における蛍の育成に取組んでおり、不法投棄されたごみの回収や情報交換を行うことにより、活動の支援に努めました。	48	60%	C	C	・環境リーダーを環境学習活動に活用するとともに、清掃や蛍の育成など、自主的な活動に対しても、支援を継続していきます。	環境保全推進課
1.3.2上流・下流地域間の連携・協力・交流の促進							
水源地域でのボランティア清掃の実施	・クリーンウォークin塩江 H18年度から開始。25年度は、11月17日に実施。 地元住民、ボランティアなどの参加があり、約2トンのごみを回収しました。ごみの回収量が減少していることから、環境美化意識の向上が図られています。 ボランティア参加者数 860人	58	73%	B	B	・水源地域である塩江町住民と、その自然の恵みを楽しむ者が、手を携え塩江町を清掃しながら歩くことで、環境の維持及び環境保護に対する意識の向上を図ります。	環境指導課 適正処理対策室
	・早明浦ダム周辺ボランティア清掃 水源保全や水源地域に対する理解と関心を高め、かつ、水資源の大切さに対する意識啓発を図ることを目的に、市民と行政が協働で本市の水道水源である早明浦ダム周辺の清掃を行いました。 実施日 11月9日 参加者 公募市民72人を含む180人（H24 公募市民82人を含む186人） ・地元水源地清掃の実施 水源への感謝の気持ちを込めて、水源保全に寄与するために、三郎池の清掃奉仕作業を行いました。 実施日 12月7日 参加者 38人	57	71%	B	B	・早明浦ダム周辺ボランティア清掃の実施 水源保全や水資源の大切さに対する意識啓発を図ることを目的に、市民と行政が協働で本市の水道水源である早明浦ダム周辺の環境保全活動を実施予定です。	企業総務課

具体的取組	H25年度取組実績	H25			H24	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
水源地域との交流活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域との交流 水道週間の関連行事である「上下水道展」開催期間（6月5日～8日）において、早明浦ダム周辺の嶺北地域や塩江町を紹介するコーナーを設置し、特産品の展示を行うとともに最終日（8日）には、特産品の販売を行い、水源地域と利水地域の相互交流を図りました。 ・早明浦湖水祭（シンポジウム）への参加 水資源開発の尊い犠牲となられた方々に感謝と敬弔の意を捧げ、水の有効利用、水源涵養思想の高揚、水源地域と利水地域の経済・文化の交流を深めることを目的とする早明浦湖水祭（シンポジウム）（8月3日（土）開催）に参加しました。 ・水域交流展覧会への出展 四国三郎吉野川源流・利水域交流美術展覧会に、書道・絵画を出展しました（高松一高、本市職員レクリエーション班）。 	58	71%	B	C	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道展における水源地域との交流物産展の開催 ・早明浦湖水祭（シンポジウム）への参加 ・四国三郎吉野川源流・利水域交流美術展覧会出展 	水環境対策室
	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域と利水地域の相互交流及び水源保全並びに水源地域に対する理解と関心を高めるため、講演会など、嶺北4か町村主催の早明浦シンポジウム（早明浦湖水祭）に参加しました。 実施日 8月3日（土） 早明浦シンポジウムに対する市民の関心は高く、今後も、継続的な実施が望まれています。 	57	71%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・早明浦シンポジウム（早明浦湖水祭）への参加を予定しています。 	企業総務課
	<ul style="list-style-type: none"> ・早明浦湖水祭「四国の子ども交歓会」（H25. 8. 22～23） 本市と嶺北地域の子どもたちが早明浦ダムを見学し、水の大切さや有効利用について学ぶとともに、カヌーやそば打ちの体験をしたり、こけ玉の作成などを行い、お互いの交流と親睦を図りました。参加児童数：44人 ・高松・嶺北子ども交歓会（H25. 11. 30～12. 1） 嶺北地域の子どもたちを高松に迎えて、御殿浄水場を見学し、水道水の仕組みについて学ぶとともに、人形劇をはじめ、レクリエーションやうどん作り体験等を行い、お互いの交流と親睦を図りました。参加児童数：40人 参加児童へのアンケートによる満足度 90.0% 本市と嶺北地域の子どもたちが、水の大切さや有効利用について学ぶとともに、相互交流を図ることができたことは有意義でありました。 	70	88%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・早明浦湖水祭「四国の子ども交歓会」への参加 本市と高知県嶺北地域の子どもたちが早明浦ダムを見学し、水の大切さや有効利用について学ぶとともに、自然を生かした体験活動により、お互いの交流を図ります。 ・高松・嶺北子ども交歓会の実施 嶺北地域の子どもたちを迎えて、御殿浄水場を見学し、水道水の仕組みについて学ぶとともに、様々な体験活動により親睦を図ります。 	生涯学習課
香東川上流・下流地域における交流事業の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域との交流 水道週間の関連行事である「上下水道展」開催期間（5月28日～31日）において、塩江町を紹介するコーナーを設置し、特産品の展示を行うとともに最終日（31日）には、特産品の販売を行い、水源地域と利水地域の相互交流を図りました。 	56	70%	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道展において水源地域との交流物産展を開催します。 ・水源地活性化調査の取組に対して、支援を行います。 	水環境対策室

基本方針2 水循環の健全化

具体的取組	H25年度取組実績	H25			H24	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
2.1.1 自己処理水源の確保							
新規水源の開発	<ul style="list-style-type: none"> 奥の池取水塔にポンプ設置等の電気設備工事を施工し、残区間の導水管を布設し、奥の池貯留水と浅井戸水を御殿貯水池まで導水出来るようになりました。 栂川ダムについては、総事業費2,400,000千円のうち、979,000千円分について実施しました。 自己処理水源の確保：43.0%	70	88%	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 深井戸を1井掘削し、深井戸水に多く含まれている鉄、マンガンを除去するため、除鉄、除マンガン施設を築造し、奥の池取水塔に深井戸用ポンプ設置等の電気設備工事を施工します。 栂川ダム建設事業については継続して参画していきます。 (総事業費2,700,000千円) H26年度本体着工予定	浄水課
2.1.2 水道施設の整備							
浄水施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 浅野浄水場の整備は、栂川ダム水の取水に合わせ施設を更新していく計画であり、平成25年度は、24～26年度の3か年で実施する急速系浄水処理施設築造工事を実施しました。 薬品注入棟建築工事が急速系浄水施設築造工事の遅れにより、着工が遅れました。 	63	79%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 平成24、25年度に引き続き、急速系浄水施設の整備を実施する。(急速系浄水施設築造工事、急速系電気設備工事、薬品注入棟建築工事) 	浄水課
老朽管路の計画的な更新	<ul style="list-style-type: none"> 配水管網整備計画に基づき計画どおり執行できた。今後も優先順位等の見直しも考慮し効率的、効果的に行う必要があります。 老朽铸铁管・口径50mm～900mm・延長4,216m及び老朽ビニル管・口径50mm～150mm・延長6,611m合計10,827mの更新を行いました。 配水管布設替延長(22年度を基準とした延べ数) 28,229m 	71	89%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 老朽铸铁管口径100mm～900mm、延長2,040mの更新を行います。 老朽ビニル管口径75mm～200mm、延長3,700mの更新を行います。 合計5,740m	水道整備課
漏水監視体制等の整備	<ul style="list-style-type: none"> 漏水を早期に発見するため、高松市内を市街地区とその他地区に分割し、市街地区をさらに2分割し隔年毎に、その他地区を3分割して3年毎に漏水調査を実施しました。 漏水率：4.8%以下 市街地区漏水調査：167km その他地区漏水調査：498km 随時特定漏水調査：170件 漏水防止工事：154件 平成25年度に漏水調査を行った結果、発見件数290件 漏水防止量1,596m³を漏水防止しました。 	67	84%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 漏水調査 市街地区：198km その他地区：525km 個別音調調査：84,326戸 随時特定調査：140件 漏水防止工事：130件 	維持管理課

具体的取組	H25年度取組実績	H25			H24	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
2.1.3水道水質の管理							
水道G L Pの維持	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年2月に認定を取得した水道G L P（水道水水質検査優良試験所規範）に基づき、厳格な水質検査体制を維持してきたが、平成25年1月に4年目の更新審査を受審し、改めて水質検査の技術力と信頼性の高さが第三者機関より認められました。 平成25年2月24日水道G L P適合認定更新（公社）日本水道協会 	67	84%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、水道G L Pに基づく厳格な管理体制のもと、水道水の水質検査を実施し、水道水の安全性の確保を図ります。 	浄水課水質管理センター
水道原水の異常監視	<ul style="list-style-type: none"> 各浄水場における24時間体制の原水水質の監視を実施したほか、水質管理センターにおいて策定する水質検査計画に基づき、水源及び浄水処理工程の水質検査を実施することにより、水源異常の早期発見に取り組みました。 平成25年度水質検査計画 水源及び原水水質検査 総検査数 10,730件 	57	71%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 各浄水場での24時間体制の原水水質の監視を継続するとともに、平成26年度水質検査計画に基づき、水源及び浄水処理工程の水質検査を実施し、水源異常の早期発見に取り組みます。 	浄水課水質管理センター
鉛製給水管の解消	<ul style="list-style-type: none"> 鉛製給水管滞留水の適正使用と、鉛管引替工事助成金交付制度に係る説明を、昨年度に引き続き、検針票裏面を活用して行う一方、新たに本庁舎、体育館、病院など14件の公共施設にポスター、チラシの配布を行った。さらに、連合自治会連絡協議会において説明するとともに、単位自治会を通じた地域住民への周知依頼を行うことにより、鉛製給水管滞留水の適正使用についての周知と、鉛管引替工事助成金交付制度の利用促進を図りました。 また、単独事業による鉛製給水管取替工事のほか、道路舗装打替え工事や下水道工事に伴う配水管移設工事等、他工事との同時施工の機会をとらえた、効率的な取替を実施しました。 鉛製給水管解消件数：2,797件 下水道工事に伴う配水管移設工事による取替、鉛管引替工事助成金交付制度を利用した引替件数等の件数の減少などにより、目標を達成することができませんでした。 	48	60%	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、鉛製給水管使用世帯に対する早期布設替えの必要性や、鉛製給水管滞留水の適正使用及び鉛管引替工事助成金交付制度について、広報紙やホームページ、ポスター・チラシの配布のほか、検針票裏面の活用などにより、周知を徹底することで助成制度の利用啓発を図るとともに、老朽配水管布設替工事、下水道工事、県道、市道等の道路舗装工事に併せて取り替えを行うなど、効率的な取替を推進することにより、鉛製給水管の早期解消に努めていきます。 （目標）鉛管給水管解消件数：4,000件 	給排水設備課
2.2.1雨水貯留施設の整備							
雨水貯留施設設置に関する助成制度の積極的な周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙「みんなの水」（8/15号）、広報「たかまつ」（12/15号）及びホームページを通じて、雨水貯留施設に関する助成制度の周知・啓発を行いました。 小規模雨水貯留タンク数：64基 中・大規模雨水貯留施設数：1基 不要浄化槽の雨水貯留施設数：46基 目標（件数）に対して、約5割5分程度の実績であった。 	49	61%	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙「みんなの水」、広報「たかまつ」及びホームページを通じて、引き続き、雨水貯留施設に関する助成制度の周知・啓発を行います。 （目標）小規模雨水貯留タンク数：120基 中・大規模雨水貯留施設数：3基 不要浄化槽の雨水貯留施設数：68基 	給排水設備課、企業総務課
市施設での貯留施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 市施設において、雨水貯留施設（4施設）を設置しました。 	58	73%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 市施設において、雨水貯留施設の設置を推進します。 	水環境対策室

具体的取組	H25年度取組実績	H25		H24		今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
2.2.2下水処理水再生水の利用促進							
再生水利用の積極的な周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを通じて、下水処理再生水の利用促進について、PRを行いました。 再生水利用制度は、一般家庭を対象とした制度ではなく、利用促進を図ることは難しいが、再生水への理解を求めたいと考えています。 	57	71%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ホームページで、下水処理再生水の利用促進を図るため、PRを行います。 	企業総務課
計画的な再生水管の整備	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地北側区域内において再生水管の延伸を行いました。 新たに2施設に供給を開始したが、3施設で供給を廃止したことにより、差し引き1施設の減となり、25年度末現在62施設へ供給を行っています。 事業仕分けや議会の所管事務調査の結果を受け、中心市街地南側などへの計画区域の拡大は行わず、現供給区域内において、利用者の拡大を図り、既存施設の有効利用を行いました。 	59	74%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 下水処理水再生水の有効利用を図るため、現供給区域内において、新たな利用施設の増加を図ります。 	下水道整備課
2.2.3地下水の適正利用							
県・市条例に基づく揚水施設設置等の届出	<ul style="list-style-type: none"> 揚水施設設置等の届出について 香川県生活環境の保全に関する条例、高松市公害防止条例に基づき、揚水機の吐出口の断面積が19cm²を超えるものを設置する場合の届出指導を行いました。 (H25年度届出件数 県条例0件、市条例1件) 地下水の有効利用と地盤沈下等の未然防止を図るため、引き続き届出指導をする必要があります。 	57	71%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、県・市条例に定める揚水施設設置等の届出について指導します。 	環境指導課
水道水源としての地下水の適正取水量の調査・検討	<ul style="list-style-type: none"> 3井同時揚水試験等の結果を香川中央地域地下水利用対策協議会の総会に諮り、渇水時の取水基準の緩和を提案しました。 香川用水の第2次取水制限以降の渇水時には深井戸1井当たり1,000m³/日で3井で最大3,000m³/日まで取水することの承認を得ました。 	76	95%	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 深井戸を1井掘削し、深井戸水に多く含まれている鉄、マンガンを除去する除鉄、除マンガン施設を築造し、奥の池取水塔に深井戸用ポンプ設置等の電気設備工事を施工します。 4井同時揚水試験等を行い、適正揚水量についての検討を行います。 	浄水課

具体的取組	H25年度取組実績	H25			H24	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
2.3.1水源地・水源林の保全							
森林整備の推進, 造林助成事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 森林整備 分収契約を締結している森林について、本市が造林事業を実施しました。 造林助成 森林所有者が行う造林事業に対し、国・県と連携し、補助を行いました。 森林資源の造林を行い、水源涵養や国土保全が図られました。 分収造林事業による年間間伐・枝打ち面積（延べ数）658ha	72	90%	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 森林整備 分収契約を締結している森林について、本市が造林事業を実施します。 造林助成 森林所有者が行う造林事業に対し、国・県と連携し、補助を行います。 	農林水産課
「いざ里山」市民 活動支援事業等の 実施	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体の活動支援 日山など市街地近郊の11箇所の里山 里山の保全に関連する幅広い活動への支援 地域住民が多数参加し、登山道や展望台付近の草刈や植林を実施。しかし、活動が登山道と山頂付近に限られていた。 まぐさ山（0.2ha）が、活動を開始した。 年間整備保全面積 3.38ha	77	96%	S	B	<ul style="list-style-type: none"> 日山など市街地近郊の10箇所の里山について、市民活動団体の活動を支援します。 	農林水産課
不法投棄防止監視 パトロール等の 実施	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄防止監視パトロール 職員による定期監視パトロールを平日118日、休日12回、計130日の178回実施。高松市全域においての不法投棄発見件数は、計93件発見し、1056.5kgの軽易な不法投棄物の回収を行った。 不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦 H25年度は6件のクリーン作戦を実施し、地元住民、市民・企業ボランティアなど延人員約5,500名が参加し、総重量17トンのごみを回収した。なお、塩江地区不法投棄撲滅クリーン作戦は1回開催し、800名が参加し、2.0tのごみを回収した。 クリーン作戦によるごみの回収量は年々減少しており、環境美化意識の向上が図られている。	58	73%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄防止監視パトロールを市内全域において実施するほか、不法投棄多発地帯には、土地管理者等に、不法投棄の防止看板や対応策を指導するなど、防止に取り組みます。 	環境指導課 適正処理対策室

具体的取組	H25年度取組実績	H25			H24	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
2.3.2地下水の涵養							
雨水浸透施設設置助成制度の積極的な周知・啓発	・広報紙「みんなの水」(8/15号)、広報「たかまつ」(12/15号)及びホームページを通じて、雨水貯留施設に関する助成制度の周知・啓発を行いました。 雨水浸透施設設置費助成制度による浸透ます設置数 : 2基	49	61%	C	C	・広報紙「みんなの水」、広報「たかまつ」及びホームページを通じて、引き続き、雨水貯留浸透施設に関する助成制度の周知・啓発を行います。	給排水設備課
市道や市施設での雨水浸透施設の整備	・郷東檀紙西線外1線の歩道L=487mについて、透水性舗装の整備を行いました。 透水性舗装整備済累計延長 11,145m 道路課施工済 9,735m 都市計画課施工済 1,410m	66	83%	B	B	・老朽化の著しい歩道の打換えや用途区域内の都市計画道路など新設道路整備に併せて透水性舗装を効率よく整備する予定としているが、25年度に整備箇所が前倒しとなったため、26年度は事業の予定がありません。	道路整備課・道路管理課
2.4.1汚水処理施設の整備							
公共下水道の整備	・高松、牟礼、香川、香南地区において、汚水管をL=9,491m整備し、公共下水道の普及に取り組みました。 公共下水道整備済面積 : 5,402.6ha	58	73%	B	A	・高松、香川、香南、国分寺地区等において汚水管整備を行います。	下水道整備課
合併処理浄化槽の設置促進	・合併処理浄化槽の設置者に対して、補助金の交付を行いました。 補助金交付数 : 1,003基 合併処理浄化槽の整備促進が図れたほか、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換も大幅に進みました。	59	74%	B	B	・本年度は1,000基の予算を見込んでおり、合併処理浄化槽の整備促進を図るとともに、新設(用途地域内を除く)の浄化槽の補助金を1/2に減額し、経費の節減を図ります。 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換について、平成25年度から上乘せ補助制度を実施しており、今年度も制度の継続と転換基数の拡充を行い、同制度の積極的な活用の周知・啓発を行います。 (目標) 補助金交付数 : 1,000基 (うち、単独転換基数 : 200基)	給排水設備課
2.4.2合流式下水道の改善							
合流式下水道改善対策の実施	・合流区域において、汚濁物の流出防止を図る施設の設置を行いました。 合流式下水道改善率 : 83%	60	75%	B	B	・H26に合流改善計画で設置予定の施設が完成予定です。	下水道整備課
2.5.1上・下水道部門の統合による水環境行政の連携							
組織統合による水環境行政の総合的な運営	・平成24年度末に解散した(財)高松市水道サービス公社職員を、25年度から移設工事業務、浄水管理業務及び下水維持業務で活用したことで、効率的な業務執行体制を構築しました。	57	71%	B	B	・今後も、業務執行をより円滑に行うことができるよう、執行体制や適切な人員配置や人材育成に努め、上下水道に係る水環境行政の一体的な推進を目指します。	企業総務課

基本方針3 良好な水辺環境の創出

具体的取組	H25年度取組実績	H25		H24		今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
3.1.1生活排水対策の推進							
家庭における生活排水対策の周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> 水質汚染の防止を図るため、環境保全推進課分室及び22か所のコミュニティセンターに持ち込まれた家庭用廃食油の収集を、高松市消費者団体連絡協議会及び各地区コミュニティ協議会に委託するとともに、廃食油を持参した方に洗たく用粉石けんを提供し、適正使用の啓発に努めました。 収集日数 97日 収集量 6,192リットル 前年度と比べ、委託先のコミュニティ協議会数は1、収集量は819リットル（前年度7,011リットル）減少しました。（鬼無コミュニティセンターの耐震補強工事実施に伴い、収集を1年間休止したこと等によります。） 	49	61%	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、環境保全推進課分室及び23か所のコミュニティセンターに持ち込まれた家庭用廃食油の収集を、高松市消費者団体連絡協議会及び各地区コミュニティ協議会に委託するとともに、廃食油を持参した方に、自然にやさしい洗たく用粉石けんを提供します。また、石けんの適正使用の啓発に努めます。 	地域政策課
	<ul style="list-style-type: none"> 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換、浄化槽の適正な管理、公共下水道への接続、家庭からの排水の適正な処理など生活排水対策の推進について、広報紙で特集し、市民に周知・啓発しました。 	57	71%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、生活排水対策の推進のため、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進、浄化槽の適正な管理、公共下水道への接続などについて、ホームページや広報紙でPRを行います。 	企業総務課
	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道への未接続世帯に対する接続依頼文書の配付や戸別訪問指導の実施により早期接続を促進しました。 効率的な促進活動を行うため、課及び局全体での未接続世帯への集中的な戸別訪問を3回実施しました。 公共下水道接続率： 90.7% 	66	83%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 供用開始時の関係世帯への接続依頼・チラシの戸別配布を行うほか、未接続世帯に対する戸別訪問指導や接続依頼文書の送付、広報紙による周知・啓発など、従来の未接続対応体制を強化するため、組織体制や接続依頼計画・方法などを見直すことに加え、引き続き、計画的に局全職員による戸別訪問を行い、個々の世帯の実情に合わせた計画的かつ効率的な接続促進活動を行うことにより、更なる接続率向上に努めていきます。 	給排水設備課
3.1.2事業場等排水対策の推進							
法令等に基づく工場・事業場等排水の監視・指導	<ul style="list-style-type: none"> 工場・事業場の監視 市内延べ141箇所の工場・事業場に対し、立入検査を実施し、水質検査結果が規制基準値を超過した延べ16事業場に対して指導を行いました。苦情受け付け件数はH25年度15件あり、引き続き、事業場排水対策を推進するため、工場・事業場の排水の監視・指導を行う必要があります。 	66	83%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、工場・事業場の排水の監視・指導を行います。 	環境指導課
環境保全型農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 農薬・肥料の適正使用啓発 春・秋に開催するごじまん野菜塾において農薬・堆肥の適正使用等について指導しました。 堆肥処理関連機械導入 スキッドステアローダー 1台 ごじまん野菜塾延べ参加人数 496人 ごじまん野菜塾だけでは対象者が限定されることから、機会を捉えて幅広く普及啓発していく必要があります。 	58	73%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 農薬・肥料の適正使用啓発 ごじまん野菜塾等を通じて農薬・堆肥の適正使用等の普及啓発に努めます。 また、堆肥処理関連機械を導入し、堆肥化の推進を行います。 堆肥処理関連機械導入 軽四ダンプ 2台導入予定 	農林水産課

具体的取組	H25年度取組実績	H25		H24		今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
3.1.3河川・ため池の浄化対策の推進							
河川・ため池の水質監視	<ul style="list-style-type: none"> 河川・ため池の水質監視 市内10河川12地点、16のため池で水質測定を実施し、速報値を環境指導課ホームページで公表しました。良好な水環境を保全するため、引き続き、河川・ため池の水質監視を行う必要があります。 河川の環境基準達成率：67% 	63	79%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、公共用水域の水質監視を行います。 	環境指導課
	<ul style="list-style-type: none"> 環境指導課が水質測定計画に基づき採水した河川やため池の水質検査を上下水道局浄水課水質管理センターで受託し、異常等が見られた場合、速報する体制を整えています。また、水道水の水源となっている河川やため池については上下水道局水質検査計画に基づき検査・監視を行い、その結果をホームページで公表しています。 河川・ため池の水質受託件数： 3,164件 水質検査計画河川・ため池検査数： 1,776件 	57	71%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 浄水課・水質管理体制充実事業 環境指導課による河川やため池の水質検査を受託し、環境監視に協力します。 	浄水課 水質管理センター
ため池の浚渫等推進	<ul style="list-style-type: none"> ため池の水質改善等を図るため、農業従事者等の理解を得ながら、池干しによる水の入れ替えやため池の浚渫を推進しました。 浚渫したため池のか所数 6か所 	49	61%	C	D	<ul style="list-style-type: none"> ため池の水質改善等を図るため、農業従事者等の理解を得ながら、池干しによる水の入れ替えやため池の浚渫を推進します。 	土地改良課
3.1.4地下水の水質監視等							
土壌汚染対策法等の適切な運用	<ul style="list-style-type: none"> 土壌汚染対策法等の適切な運用 有害物質使用特定施設の使用の廃止時や、一定規模以上の土地の形質変更の届出による、調査・審査等を行いました。 H25年度審査件数 使用廃止時0件、形質変更43件 地下水汚染を未然に防止するため、引き続き、土壌汚染対策法等の適切な運用を行う必要があります。 	63	79%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、土壌汚染対策法等の適切な運用を行います。 	環境指導課
地下水の水質監視	<ul style="list-style-type: none"> 地下水の水質監視 市内7地点で概況調査を実施した結果、1地点で「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素」項目が環境基準値を上回っていたが、周辺には影響は認められなかった。 地下水の水質監視は、発生源周辺の定点7地点での調査を継続した。 	63	79%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、地下水の水質を監視します。 	

具体的取組	H25年度取組実績	H25			H24	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
3.1.5 海域の浄化対策等の推進							
法令等に基づく事業場等の排水の監視・指導	・工場・事業場の排水の監視・指導 市内延べ55箇所の工場・事業場に対し、立入検査を実施し、水質検査結果が規制基準値を超過した2事業場に対して指導を行いました。 事業場排水対策を推進するため、工場・事業場の排水の監視・指導を行う必要があります。	66	83%	A	B	・引き続き、工場・事業場の排水の監視・指導を行います。	環境指導課
豊かな「里海」を実現するための取組の推進	・瀬戸内海環境保全知事・市長会議 瀬戸内海環境保全知事・市長会議に参加し、各種施策に協力しました。	57	71%	B	B	・瀬戸内海環境保全知事・市長会議の会員として、引き続き、各種施策に協力します。	環境指導課
	・海浜清掃事業 毎年1回、市内の海浜及び漁港を漁業者による清掃を実施し、漁港機能の確保や海浜の美観維持に努めました。 事業実施の効果により、漁場環境保全の面で役立っています。 しかし、漁場者の高齢化、後継者不足から清掃事業への参加者が減少傾向であり、今後、効率的な回収方法を検討していく必要があります。 参加者 726人 回収ゴミ 76 t	67	84%	A	B	・豊かな「里海」を実現するため、漁業者による海浜清掃事業を継続し、漁港施設の確保や海浜の美観維持に努めます。	農林水産課
3.2.1 潤いのある緑地と水辺空間の創造							
親水空間に配慮した緑のまちづくりの推進	・都市公園等の整備 芝生整備工事は要望が無かったため、実施しませんでした。 東部運動公園弓道・アーチェリー場整備A=0.5ha 東部運動公園修景園地整備等A=2.0ha 玉藻公園西南エリア整備A=0.14ha 1人当たり都市公園等面積 8.16	60	75%	B	B	・都市公園等の整備 高松海岸線街路植栽工事L=300m 天皇公園芝生整備工事A=500㎡ 竜王山公園（仮称）整備工事 三谷公園（仮称）整備工事 勅使大隅公園（仮称）整備工事	公園緑地課
	・みどり豊かな教育環境を整備するため、校庭を芝生化するなど、学校施設の緑化を進め、こどもたちの緑化意識を育み、環境教育の場となる環境に配慮した学校施設を目指すとともに、次代を担う児童・生徒の運動・体力不足を解消し、たくましく心豊かな子供たちの育成を図ります。 (芝生化の実施) 太田南小学校5,600㎡、古高松南小学校4,800㎡、太田小学校700㎡、大野小学校300㎡	71	89%	A	B	・大規模芝生化予定 古高松小約2,000㎡	教育局総務課

具体的取組	H25年度取組実績	H25			H24	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
3.2.2生態系に配慮した水空間づくり							
多自然川づくり実現に向けた取組の推進	・生体系保全や河川景観に配慮した生態系保全工法の採用実績はなかったが、今後も引き続き、地域住民や地元水利関係者の理解や協力を得ながら、自然環境や生態系に配慮した河川整備に努めます。	41	51%	D	A	・多自然川づくりについては、引き続き、河川改修工事の新規事業採択に合わせて、周辺環境や管理面に考慮の上、地域住民や地元水利関係者の理解や協力を得ながら、可能な限り生態系保全工法を採用した川づくりに努めます。	河港課
生態系保全水路工法の導入促進	・頭に出水がある用水路の改修に際しては、小型淡水魚等の生息場所となる空間を確保した生態系保全水路工法の採用を推進したが、25年度における実施はありませんでした。今後も、引き続き協力を得られるよう、周知啓発に努めます。 採用水路数 0か所	42	53%	D	E	・頭に出水がある用水路の改修に際しては、小型淡水魚等の生息場所となる空間を確保した生態系保全水路工法の採用を推進します。	土地改良課
3.2.3住民の憩いの場としてのため池整備							
ため池整備事業にあわせた水辺空間の環境整備	・ため池景観整備維持管理事業により、周辺環境施設の適正な維持管理を推進しました。 ため池景観整備維持管理事業実施か所数 16か所	67	84%	B	B	・ため池の整備に併せ、水辺空間を活用した周辺環境の整備及び維持管理体制づくりを支援します。	土地改良課
「ため池守り隊」市民活動支援事業の実施	・ため池を農家と地域住民による活動団体が管理する取組に対して支援する「ため池守り隊」市民活動支援事業を推進しました。 「ため池守り隊」市民活動支援事業取組か所数 14か所	58	73%	B	B	・ため池を農家と地域住民による活動団体が管理する取組に対して支援する「ため池守り隊」市民活動支援事業を推進します。	土地改良課
3.2.4湧水（出水）、干潟の保全							
湧水（出水）・干潟の保全・活用の検討	・環境保全推進課が、干潟の生き物観察会を実施しました。	20	25%	E	E	・貴重な地域資源である地下水の涵養など、湧水の保全と適正な利用について検討します。 ・湧水（出水）について、場所及び数等実態調査の実施を検討します。	水環境対策室

基本方針4 安全で安心なまちづくりの推進

具体的取組	H25年度取組実績	H25			H24	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
4.1.1適切な渇水対応の実施							
適切な渇水対応の実施	・香川用水の取水制限は、34日間実施されたが、自己処理水源の増量により、給水は安定して供給できました。	58	73%	B	B	・香川用水の取水制限が実施されれば、渇水の影響を最小限に止めるため、取水制限の段階に応じて、適時適切な渇水対応を行い、断水の回避に努めます。	企業総務課
4.1.2円滑な水融通							
緊急時の円滑な水融通	・H25夏季渇水時に市内水利関係者との連携を図り、緊急時の円滑な水融通により、断水等を回避しました。	70	88%	C	C	・引き続き関係者との連携を図り、緊急時の円滑な水融通に努めます。	浄水課
4.2.1施設の耐震化							
上下水道施設の耐震整備	・浄水場施設の更新においては、全て耐震構造の施設を築造しています。 ・川添浄水場管理棟の耐震補強工事は、入札不調で再度26年度に実施します。	67	84%	B	B	・川添浄水場管理棟の耐震補強工事の再公募を行います。また、浄水場の施設更新は全て耐震構造で実施します。	浄水課
	・事業の推進で耐震化率は前年度より向上し目標を上回ったが、継続して事業を行う必要があります。 口径50mm～600mm・延長2,182mの配水管布設 口径50mm～900mm・延長10,827mの配水管布設替 合計13,009m	71	89%	A	A	・口径75mm～600mm、延長2,825mの配水管布設を行います。 ・口径75mm～900mm、延長5,740mの配水管布設替を行います。 合計8,565m	水道整備課
	・下水道管きよの新設時に、耐震対策を行った管渠をL=13,451m整備しました。 下水道管きよ耐震化率：34.6%	70	88%	A	S	・H26年度においても、管渠の新設時に、必要な耐震化を行います。	下水道整備課
	・牟礼浄化苑の耐震補強実施設計業務を完了しました。また、東部下水処理場の沈砂池機械棟耐震補強工事に着手しましたが、他工事との調整が必要であり次年度に繰り越しました。なお、南部ポンプ場の耐震補強工事は入札不調のため次年度に繰り越しました。	48	60%	C	C	・引き続き、東部下水処理場の沈砂池機械棟及び南部ポンプ場の耐震補強工事を実施します。また、牟礼浄化苑の耐震補強工事を実施します。	下水道施設課

具体的取組	H25年度取組実績	H25		H24		今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
4.2.2緊急時の復旧体制の整備							
上下水道の応急復旧体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道事業統合を始め、国や県による南海トラフ地震の新たな被害想定公表、香川県地域防災計画及び高松市地域防災計画の改定を受け、高松市上下水道局地震・津波対策マニュアルの改定作業に取り組んでいます。 地震等の災害により被害が発生した場合、本市が管理する施設の復旧支援が迅速かつ円滑に行われることを目的として、日本下水道事業団との間に「災害時における下水道終末処理場およびポンプ場の復旧支援に関する協約」を、日本下水道管路管理業協会との間に「災害時における下水道管路施設の復旧支援に関する協定」を締結するとともに、当該施設の応急復旧に必要な資材の供給が迅速かつ円滑に行われることを目的として、(株)西水道機器との間に「災害時における応急復旧資材の供給に関する協定」を締結しました。 	58	73%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 実効性の高いマニュアルを目指し、業務継続計画（BCP）も盛り込んだ「高松市上下水道局地震・津波対策マニュアル」を策定します。 	企業総務課 水道整備課 下水道整備課 下水道施設課
応急給水体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽（60m³）の整備（松島町、伏石町、春日町） 耐水性貯水槽の整備数 3基 	70	88%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽の整備 60m³×2基（西春日町、香川町） 40m³×1基（牟礼町） 	消防局総務課
	<ul style="list-style-type: none"> 有事の際に、応急給水活動を迅速に行うことができるように、各コミュニティ協議会などが主催する震災訓練に参加し、地域の住民とともに応急給水訓練を実施しました。 実施回数： 4回 	58	73%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 有事の際に、応急給水活動を迅速に行うことができるように、引き続き各コミュニティ協議会などが主催する震災訓練に参加し、地域の住民とともに応急給水訓練を実施します。 「高松市上下水道局地震・津波対策マニュアル」に基づく対応が速やかに行えるよう、職員向けの応急給水訓練や動員訓練などを定期的に行います。 	企業総務課
4.2.3地域住民との連携の強化							
自主防災組織結成の促進	<ul style="list-style-type: none"> 「自治会加入促進月間」の設定（11月）と併せて、「自主防災組織加入促進月間」を設定しました。 小学校など教育機関と連携し、児童・生徒を対象に意識啓発を図りました。 平成23年度より配置している協働推進員を活用し、自主防災組織の加入・結成を呼びかけました。 市政出前ふれあいトークにおいて、自治会の重要性を説明するとともに、自主防災組織の必要性を説明したことで、意識啓発に一定の効果がありました。 今後も、自治会をベースとした自主防災組織結成の重要性について、説明をしていく必要があると思われます。 また、地域コミュニティ協議会において、地域を包括する自主防災組織を結成するなどといった成果も見られました。 	45	56%	D	D	<ul style="list-style-type: none"> 自治会加入促進月間と併せて自主防災組織の結成促進を図ります。 市政出前ふれあいトークなどで、更なる自治会と自主防災組織の必要性を広めます。 自治会と自主防災組織の、更なる連携強化を図ります。 	地域政策課

具体的取組	H25年度取組実績	H25			H24	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
自主防災組織結成の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に、自力で避難することが困難な高齢者や障がい者などを登録する災害時要援護者台帳を作成することで、地域の防災力向上を図るとともに、「たかまつ安心キット」の配布をあわせて行い、地域の見守り体制の構築を推進しました。 申請書送付件数 4,375件 新規登録者数 686件 新規登録率 16% 	49	61%	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に、自力で避難することが困難な高齢者や障がい者などを登録する災害時要援護者台帳を作成することで、地域の防災力向上を図るとともに、「たかまつ安心キット」の配布をあわせて行い、地域の見守り体制の構築を推進します。また、国の災害時要援護者支援のガイドラインの見直しにあわせて、取組の見直しを検討します。 	健康福祉総務課
	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災力強化事業補助金制度の活用により、小学校区等を単位とした実践的な訓練を27校区で実施しました。 ・訓練後、包括的自主防災組織を25結成して自主防災組織の活動カバー率向上を図りました。 自主防災組織活動カバー率 87.9% 	67	84%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災力強化事業補助金制度の活用した防災訓練を19校区で実施し、未結成地域へ包括的自主防災組織の結成を呼びかけ、活動カバー率100%を目指します。 	消防局予防課
地域と連携した防災訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災リーダー育成セミナー 防災に関する基本知識・技能を有する人材の育成をするため、意欲のある市民を対象に各専門分野の講師による防災セミナー（5日間×2時間）を行い、地域防災リーダーの育成に努めました。 参加者数： 56人 	77	96%	S	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災リーダー育成セミナーの実施 7月5日（土）13:00～18:00 7月12日（土）13:00～17:00 	危機管理課
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災士育成事業 地域防災の担い手の育成を促進し、もって地域防災力の向上に寄与することを目的に、防災士の登録を受けた者へ、防災士機構の認証登録に係る経費の一部を補助金として交付しました。 補助金交付申請者： 36人 	65	81%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・防災士育成事業の実施 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校区等を単位とした防災訓練を支援しました。 ・単一等自主防災組織の防災訓練を積極的に支援しました。防災訓練の協力要請に対して全て支援しました。 協力要請に対する訓練支援率 100% 	76	95%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・包括的自主防災組織の結成に伴う小学校区等の自主防災組織の防災訓練に対する支援 ・単一等の自主防災組織の防災訓練に対しての積極的な支援 	消防局予防課
4.3.1 雨水対策の推進							
雨水幹線及び雨水ポンプ場の整備と適切な運転・維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水幹線整備として、中部バイパス第2及び第3幹線のほか、仏生山第5雨水幹線などの整備を行いました。また、雨水ポンプ場整備として、福岡ポンプ場土木工事を行ったほか、屋島西ポンプ場土木工事に着手しました。 	58	73%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水幹線整備として、引き続き、仏生山第5雨水幹線の整備を行うほか、新たに、香西第1雨水幹線などの整備を行います。 ・雨水ポンプ場の整備として、引き続き、福岡ポンプ場の整備を行うほか、屋島西ポンプ場の土木工事等を行います。 	下水道整備課

具体的取組	H25年度取組実績	H25			H24	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
4.3.2高潮等対策の推進							
高潮等関連整備事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 防潮堤等整備工事 高松漁港L=494.0m 庵治漁港L=546.1m 西浦漁港整備延長L=8.4m 女木港整備延長L=200.8m 男木港整備延長L=145.4m 浦生漁港整備延長L=91.8m 整備延長合計L=1,486.5m 防潮堤整備による浸水棟の解消率 58.3% 	64	80%	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 限られた予算の中で、引続き浸水被害の解消を図るため、県と連携を図りながら防潮堤等の早期整備に努めます。 H26については、H25の未達成値を含めて延べ目標値を64.7%とするため単年度目標値1.7%を見込みます。 	河港課
4.3.3ため池・水田等の保全・活用							
耕作放棄地の再生利用	<ul style="list-style-type: none"> 国・県の補助を活用して、約6.0haの耕作放棄地を再生利用しました。 耕作放棄地の再生利用を図るとともに、市民農園の整備や農地の貸借により、耕作の継続（耕作放棄地発生の未然防止）を促し、実質的には、数字以上の放棄地増加の抑制と農地の保全を図りました。 耕作放棄地再生利用面積（21年度を基準とした延べ数）11.5ha 	57	71%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 前年度と同様に国・県の補助事業を活用して、耕作放棄地の再生利用に努めます。 	農林水産課
中山間地域等直接支払制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域等直接支払制度の活用 農地が持つ水源の涵養や洪水防止などの多面的機能が確保できました。 中山間地域等直接支払制度活用農地面積 378ha（24年度 373ha） 	54	68%	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 前年度と同様、耕作放棄の未然防止と農地の水源涵養や洪水防止などの多面的機能の確保を行います。 	農林水産課
ため池の適切な保全	<ul style="list-style-type: none"> 老朽ため池の整備を推進しました。 整備か所数 県営 1か所 団体営 1か所 	54	68%	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 香川県ため池の保全に関する条例などに基づき、引き続き、適切なため池の保全に努めます。また、受益地がなく、利用されていないため池の有効活用策について検討を進めます。 	土地改良課
	<ul style="list-style-type: none"> ため池の統廃合を含めた再編整備を推進しました。 再編整備地区数 0地区 	45	56%	C	C		

基本方針5 持続可能な水の利用および管理のあり方の検討

具体的取組	H25年度取組実績	H25			H24	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
5.1.1水に関する関係者の連携・協力・交流の推進							
高松市水環境協議会での意見交換等の実施	・水環境協議会の開催（9月3日） 「高松市水基本計画 第1期実施計画23年度実績報告」について、意見聴取し、実効性のある進行管理の確立について協議しほか、総合水循環システムの具体化、湯水に強いまち高松のイメージづくりについて報告しました。	61	76%	B	B	・水環境協議会において、水を利用する、また、保全・管理するそれぞれの立場から、取組や課題などの意見交換をすることで、総合水循環システムの構築に向けた検討を実施します。	水環境対策室
各施策実施時における多様な主体との連携・協力・交流の推進	・巧水スタイル推進チームへの参加を始め、雨水ネットワーク会議全国大会（8月3日開催）、香川中央地域地下水利用対策協議会（6月14日開催）、節水型街づくり推進協議会（5月29日開催）等に参加し、国・県・関係機関と情報交換することにより、連携・協力・交流を図りました。 ・大学との連携 高知工科大学「気候変動と適応策」及び香川大学医学部公衆衛生学「早明浦プロジェクト」への後援・参加等	55	69%	C	C	・引き続き、国・県・関係機関等と情報交換することで、連携・協力・交流を行います。 ・大学からの要請があれば、可能な限り協力し、連携を図ります。	水環境対策室
水道事業の統合・広域化の検討	「香川県水道広域化協議会」幹事会と専門部会の開催 ・平成25年4月に「香川県広域水道事業体検討協議会」が新たに設置され、広域化に関する基本的事項について具体的な検討を行うなど、広域化に参画するかどうかの意思決定に向けての協議・検討を進めています。 幹事会 2回開催、総務部会 5回開催、業務部会 5回開催	57	71%	B	B	・平成25年4月に「香川県水道広域事業体検討協議会」を設置し、県と市町が協力して、広域化に関する基本的事項について、具体的な検討を行うなど、広域化に参画するかどうかの意思決定に向けての協議・検討を進めます。	企業総務課
5.2.1総合水循環システム構築に向けた検討							
持続可能な水環境の形成に向けた総合水循環システムの在り方の検討	・持続可能な水の利用と管理のあり方について、十分な検討ができませんでした。	25	31%	E	E	・水環境協議会において、水を利用する、また、保全・管理するそれぞれの立場から、取組や課題などの意見交換をすることで、総合水循環システムの構築に向けた検討を実施します。	水環境対策室